

令和6年度

事業報告書

＜付属明細書＞

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

1 福祉を支える人づくり

(1) 地域福祉を担う人材の育成

① 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業 [地域福祉企画部]

ア 地域福祉活動コーディネーター（CSW）の養成と支え合いマップ手法の習得支援

(ア) 地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成研修会

＜前期＞ 期日、会場、参加者：7月18日、19日、盛岡八幡宮、22人

内容：講義、演習

＜後期＞ 期日、会場、参加者：8月28日、29日、一関市総合福祉センター、20人（修了者）

内容：講義、演習

(イ) 地域づくり実践研修会

＜前期＞ 期日、会場、参加者：1月23日、24日、紫波町総合福祉センター、22人

内容：講義、グループワーク

＜後期＞ 期日、会場、参加者：2月6日、7日、ふれあいランド岩手、10人

内容：講義、取組発表、グループワーク

イ 研修修了者のフォローアップ及び地域支援マニュアルの整備

(ア) CSW 継続研修会

上記の「地域づくり実践研修会」を本研修会に位置付けた。

(イ) 地域支援マニュアルの作成

「社会福祉関係資料集」の作成（地域福祉活動コーディネーター養成研修会の資料として作成）

(ウ) CSW 修了者メーリングリストの普及・活用

CSW 活動に関連する各種情報をメールで情報提供（登録者 177 人）

(エ) 支え合いマップ作成支援

a 遠野市社会福祉協議会

実施日、支援内容：8月5日、支え合いマップ作製支援研修会オブザーバー

b 一戸町社会福祉協議会（一戸町地域包括ケアシステム検討委員会）

実施日、支援内容：6月12日、2月25日、一戸町地域包括ケアシステム検討委員会「集いの場部会」オブザーバー

ウ いわて“おげんき”みまもりシステム管理運営事業

(ア) ICT技術を活用した安否確認システムの導入推進

[令和6年度見守りセンター設置社協等] 28市町村社協、33センター

（稼働中）盛岡市（盛岡・盛岡Ⅱ・松園みまもりセンター）、宮古市（川井）、大船渡市、花巻市（本所・石鳥谷）、北上市、一関市、釜石市、二戸市（本所・浄法寺）、八幡平市、奥州市（江刺）、滝沢市（滝沢1・滝沢第2）、岩手町、紫波町、矢巾町、住田町、山田町、洋野町（大野）

（休止中）花巻市（大迫・東和）、久慈市、陸前高田市、雫石町、西和賀町、平泉町、大槌町、軽米町、野田村、九戸村、洋野町（本所）、一戸町、県社協

(イ) システム登録者数

1,394人（うち実利用者数248人）

(ウ) システム運用定例会議の開催（システム開発企業イワテシガ(株)・県社協）

開催日：6月3日、7月3日、10月2日、1月8日

会場：ふれあいランド岩手

- (エ) 重層的見守りにかかる ICT 活用研究会
※災害対応のため中止

② 福祉人材確保等貸付事業 [福祉経営支援部]

ア 介護福祉士修学資金等貸付事業

介護福祉士及び社会福祉士等の人材の養成と確保を目的とした貸付け、介護職として一定の知識及び経験を有する者が再就職するための準備に必要な費用の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

| 貸付金の種類 | 令和 6 年度 | | 備考 |
|------------------|---------|-----------|--------------------------|
| | 新規貸付数 | 貸付金額 | |
| 介護福祉士（社会福祉士）修学資金 | 51 人 | 66,797 千円 | |
| 介護福祉士県内養成施設 | 34 人 | 57,250 千円 | |
| 県内養成施設 | 31 人 | 49,810 千円 | |
| 県外養成施設 | 3 人 | 7,440 千円 | 仙台大 1、東北福祉大学 1 人、仙台医秘書 1 |
| 社会福祉士養成施設 | 17 人 | 9,547 千円 | うち県外養成施設 2 人 |
| 介護福祉士実務者研修受講資金 | 51 人 | 7,127 千円 | |
| 再就職準備金 | 1 人 | 400 千円 | |
| 福祉系高校修学資金 | 11 人 | 4,130 千円 | |
| 介護分野・障害福祉分野就職支援金 | 0 人 | 0 千円 | |
| 合 計 | 114 人 | 78,454 千円 | |

(イ) 貸付状況（令和 7 年 3 月現在）

| 貸付金の種類 | 猶予中 | 貸付中 | 未交付 | 免除者 | 返還中 | 返還済 | 計 |
|------------------|-------|-------|-----|-------|------|------|-------|
| 介護福祉士（社会福祉士）修学資金 | 244 人 | 104 人 | 4 人 | 380 人 | 29 人 | 86 人 | 847 人 |
| 介護福祉士実務者研修受講資金 | 131 人 | 54 人 | 5 人 | 223 人 | 6 人 | 45 人 | 464 人 |
| 再就職準備金 | 4 人 | — | — | 37 人 | — | 1 人 | 42 人 |
| 介護分野・障害福祉分野就職支援金 | 1 人 | — | — | — | — | — | 1 人 |
| 福祉系高校修学資金 | 14 人 | 17 人 | — | — | — | — | 31 人 |

イ 保育士修学資金貸付等事業

岩手県における保育士資格の新規取得者の確保、保育士の離職防止、潜在保育士の再就職支援を図るため、指定保育士養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指す学生に対する修学資金のほか、潜在保育士の再就職のための準備に必要な費用、未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援に必要な費用の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

| 貸付金の種類 | 令和 6 年度 | |
|---------------------------------|---------|-----------|
| | 貸付数 | 貸付金額 |
| 保育士修学資金 | 28 人 | 40,700 千円 |
| 県内養成施設 | 23 人 | 33,400 千円 |
| 県外養成施設 | 5 人 | 7,300 千円 |
| 就職準備金 | — | — |
| 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付 | — | — |
| 合 計 | 28 人 | 40,700 千円 |

(イ) 貸付状況（令和7年3月現在）

| 貸付金の種類 | 猶予中 | 貸付中 | 未交付 | 免除者 | 返還中 | 返還済 | 計 |
|---------------------------------|-------|------|-----|------|------|-----|-------|
| 保育士修学資金 | 100 人 | 58 人 | — | 24 人 | 19 人 | 4 人 | 205 人 |
| 就職準備金 | 2 人 | — | — | 7 人 | — | — | 9 人 |
| 未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付 | — | 0 人 | — | 1 人 | 0 人 | 0 人 | 1 人 |

ウ ひとり親家庭高等職業訓練促進支援資金貸付事業

ひとり親家庭の自立の促進を図るため、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親へ訓練資金を貸し付け、資格取得を促進するとともに、自立に向けて意欲的なひとり親家庭の親へ住宅支援資金の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

| 種 類 | 令和6年度 | |
|--------|-------|----------|
| | 貸付数 | 貸付金額 |
| 入学準備金 | 4 人 | 2,000 千円 |
| 就職準備金 | 3 人 | 363 千円 |
| 住宅支援資金 | 1 人 | 120 千円 |
| 計 | 8 人 | 2,483 千円 |

(イ) 貸付状況（令和7年3月現在）

| 猶予中 | 貸付中 | 免除者 | 返還中 | 返還済 | 計 |
|------|------|------|-----|-----|------|
| 31 件 | 14 件 | 11 件 | 0 件 | 2 件 | 58 件 |

※ 同一の借受人が別種の貸付を併用可能なため、借受人の重複あり

エ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

児童養護施設等入所中又は里親等へ委託中の者及び児童養護施設等を退所した者又は里親等への委託が解除された者に対する貸付けを実施。主な内容は、大学等に在学する者に対する生活支援費の貸付け、就職者に対する生活支援費及び家賃支援費の貸付け、就職に向けて資格の取得を希望する者に対する資格取得支援費の貸付けの実施。

(ア) 新規貸付決定状況

| 種 類 | 令和6年度 | | |
|---------|-------|-----------|-----------------------------------|
| | 貸付件数 | 貸付金額 | 実人数 |
| 生活支援費 | 5 件 | 8,100 千円 | 家賃+生活+資格1人、 家賃+生活4人、 資格のみ4人 |
| 家賃支援費 | 5 件 | 4,926 千円 | |
| 資格取得支援費 | 4 件 | 982 千円 | |
| 計 | 14 件 | 14,008 千円 | 8 人 |

(イ) 貸付状況（令和7年3月現在）

| 猶予中 | 貸付中 | 免除者 | 返還中 | 返還済 | 計 |
|------|------|-----|-----|-----|------|
| 37 人 | 18 人 | 6 人 | 4 人 | 1 人 | 66 件 |

※ 同一の借受人が別種の貸付を併用可能なため、借受人の重複あり

③ 社会福祉従事者等研修・資格取得講座〔福祉経営支援部・福祉人材研修部〕

福祉サービスを担う人材の確保や育成、社会福祉・介護従事者の資質向上や定着促進のためのキャリアアップ等を目的に、経営者及び社会福祉従事者を対象とした研修を実施した。

ア 福祉施設のためのリスクマネジメント講座

期日、参加者：第1回11月15日、第2回11月22日、第3回12月6日

オンライン開催、76事業所

内容：仕組みでマネジメントする現場のリスク、組織的な取組みの進め方、具体的事例から学ぶリスクマネジメント（高齢分野・障がい分野・保育分野）に係る講義及び演習

イ 社会福祉従事者新任職員研修会

期日、会場、参加者：10月30日、31日 アイーナ 109人

内容：職場生活の基本、福祉倫理と運営管理、キャリアデザインとセルフマネジメント、メンバーシップと課題解決、多職種連携とチームアプローチに係る講義及び演習

ウ 社会福祉従事者リーダー職員研修会

期日、会場、参加者：7月2日・3日、アイーナ 99人

内容：業務課題の解決と実践研究、リーダーシップとメンバーシップ、福祉の専門性とキャリア形成、リーダー職員の役割とコーチング、多職種連携とチームアプローチに係る講義及び演習

エ 介護支援専門員実務研修受講試験受験対策講習会

（講座）期日、会場、参加者：8月10日、11日、ふれあいランド岩手、31人

（模試）期日、会場、参加者：9月7日、ふれあいランド岩手、24人

内容：介護支援分野のポイント、保健医療・福祉分野のポイント、模擬試験

オ 令和6年度岩手県児童福祉施設等職員向け児童虐待対応研修

期日、会場：12月6日、盛岡市勤労福祉会館

参加者：85人

内容：岩手県における児童虐待対応の状況、児童虐待対応の基本的な理解

④ 介護職員等医療的ケア研修事業〔福祉人材研修部〕

ア 令和6年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号・第二号研修）

（ア）指導者養成講習

期日、会場：【講義】6月25日、アイーナ

【技術確認演習】7月2日、3日、アイーナ

【指導演習】A：8月28日、29日、岩手産業会館

B：9月11日、12日、アイーナ

参加者（修了者）：41人（38人）

内容：制度の概要、研修カリキュラム、体制整備、安全管理体制とリスクマネジメント、喀痰吸引・経管栄養の指導・評価

（イ）基本研修（講義・演習）及び実地研修

期日、会場：【講義】6月10日、11日、24日、25日、26日、

7月9日、10日、11日、アイーナ

【筆記試験】本：8月2日、再：8月16日、アイーナ

【演習】A：8月27日、28日、29日、岩手産業会館

B：9月10日、11日、12日、アイーナ

【実地研修】9月24日～1月15日 施設・事業所又は居宅

内容：講義（50時間）、手順解説、喀痰吸引・経管栄養の演習

（ウ）基本研修免除・実地研修（介護福祉士養成校等修了者対象）

期日：【実地研修】9月24日～1月15日 施設・事業所又は居宅

【技術確認演習】：7月2日、3日、アイーナ、64人

（エ）半固形栄養剤使用による経管栄養演習及び実地研修

期日：【演習】10月10日、ふれあいランド岩手

【実地研修】10月24日～1月22日 施設・事業所又は居宅

イ 令和6年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第三号研修・特定の者対象）

実施なし（申込なし）

ウ 令和6年度岩手県介護職員等医療的ケア研修 各種委員会

(ア) 作問委員会 書面審査

(イ) 実施委員会

期日、会場：4月13日、2月10日、キャラホール、ふれあいランド岩手

(ウ) 合否判定委員会

期日、会場：11月29日、12月20日、1月31日、2月15日、3月19日、ふれあいランド岩手

⑤ 福祉人材センター運営事業〔福祉人材研修部〕

ア 福祉人材無料職業紹介

「福祉人材情報システム」を運用し、無料職業紹介所として、求人求職のあっせんを中心に事業を行った。求職者に対し、就職や資格取得に関する相談、福祉全般に関する情報提供を行い、また毎月第2土曜日のセンター開所や、他団体の就職相談会等での相談対応等を行い利用促進を図った。

【求人・求職の実績】

| 年度 | 新規求人数(人) | 新規求職数(人) | 紹介採用数(件) | 求人求職相談数(件) |
|-------|----------|----------|----------|------------|
| 令和6年度 | 4,067 | 1,122 | 148 | 8,134 |
| 令和5年度 | 4,082 | 956 | 127 | 7,269 |
| 令和4年度 | 4,281 | 964 | 141 | 6,516 |
| 令和3年度 | 4,479 | 1,005 | 182 | 6,961 |
| 令和2年度 | 4,839 | 1,012 | 172 | 7,085 |

イ 各種会議・研修会への参加

(ア) 業務・法令研修会

期日：4月（アーカイブ配信）

(イ) 福祉人材情報システム研修会

期日：4月（アーカイブ配信）

(ウ) 職業紹介責任者講習会

期日：4月30日（オンライン）

(エ) いわてで働こう推進協議会

期日、会場：第1回：6月6日、第2回：2月10日、岩手教育会館
（担当者会議）12月19日、盛岡市勤労福祉会館

(オ) 人材確保推進協議会

期日、会場：6月24日、盛岡第2合同庁舎

(カ) いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォームに係る担当者会議

期日、会場：第1回：6月24日、第2回：3月10日、盛岡第2合同庁舎

(キ) 岩手県介護労働懇談会

期日、会場：11月29日、プラザおでって

(ク) 福祉人材センター全国連絡会議

期日、会場：9月19日～20日、全国社会福祉協議会（東京都）

(ケ) 北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議

期日、会場：11月28日～29日、アートホテル青森（青森県）

(コ) 福祉人材センター・バンク基幹職員会議

期日、会場：7月11日～12日、全国社会福祉協議会（東京都）

※ 上記のほか、県内の各種会議に参画した。

ウ 主催会議

(ア) 福祉人材センター運営委員会

<第1回> 期日、会場：9月11日、岩手県民会館

- ＜第2回＞ 期日、会場：3月3日、岩手県民会館
- (イ) 福祉人材養成関係機関との連絡
県内2か所の福祉人材養成校を個別訪問しヒアリングを行った。
期日、ヒアリング先：1月27日 盛岡大学
3月6日 盛岡医療福祉スポーツ専門学校
内容：就職状況、入学者の推移、学生・生徒の就職活動の動向等
- エ 雇用関係給付金の取扱相談窓口の開設
制度の説明及び周知を行うとともに、制度対象者の手続を行った。
特定求職者雇用開発助成金 12件
内訳：高年齢者9件、母子家庭の母等2件、障害者1件
- オ 広報・啓発事業
(ア) 岩手県福祉人材センターのPR
センターの周知、PRを目的に、人材センターリーフレット2,000部、求人事業所向け人材センターPRチラシ3,000部を作成し配布した。
(イ) 求人情報紙・地域情報紙、マスメディア等を活用した広報事業
「介護・保育・福祉の就職相談会」等のイベント開催にあたり、FMラジオスポット広告(25本)、Googleサイト内でのディスプレイ広告(6月～7月)、IGRいわて銀河鉄道4駅(盛岡、青山、厨川、滝沢)へのチラシ配架、ポスター掲示、中央郵便局デジタルサイネージ広告等を活用し、開催の周知、PR、求職者の参加募集を行った。また、新規求職登録を促進するため、Googleディスプレイ広告(3月)を行った。
(ウ) 岩手県福祉人材センターホームページ
ホームページにより、事業案内、求人情報、各種資料等の情報発信を随時行った。
- カ 「介護・保育・福祉の就職相談会」の開催
福祉の職場への就職希望者や学校の進路指導担当者等を対象に、福祉の職場の現状や就職に関する情報提供、福祉施設・事業所等との個別面談の場として開催した。
期日、会場、参加者：7月27日、ホテルメトロポリタン盛岡本館、出展法人38法人、参加者72人
内容：事業所等との個別面談、情報提供・個別相談
- キ 事業所訪問
社会福祉施設の人材の確保・定着に向けた取組等の把握を行い、人材確保の支援と人材センターへの求人件数増加を目的に施設訪問を実施した。
期間、訪問数：8月～3月、障がい者(児)支援施設11か所
- ク 他団体就職フェア、就職ガイダンス等への参加
(公財)ふるさといわて定住財団(5回/※岩手県U・Iターン就職フェア(1回)を含む。)その他、ハローワークや行政等関係団体等、72回対応
- ケ 福祉人材養成校等との連絡
(ア) ガイダンス・相談会の実施等
福祉の雇用動向及び福祉人材センターの事業内容等について説明。
期日、実施先：12月11日、社会福祉学部就職セミナー、岩手県立大学
(イ) 養成校の会議等への出席
盛岡医療福祉スポーツ専門学校介護福祉学科教育課程編成委員会 8月7日、3月6日
北日本医療福祉専門学校教育課程編成委員会 9月6日、2月7日
岩手県立大学社会福祉学部自己点検・評価に係る意見交換会 3月17日
- コ 小学生・中学生・高校生を対象とした福祉のしごと紹介事業(出前講座)の開催
期間、実施回数、参加人数：6月～3月、5回、167人

サ 介護福祉士等届出制度の推進

登録者 117 人 ※保育士を含む

シ 福祉のしごと体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者に対し、障がい・児童分野の仕事への理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所で、しごと体験事業を実施した。

実績：体験総数 延べ 10 人

⑥ 介護人材マッチング支援事業〔福祉人材研修部〕

本県における福祉・介護人材の確保を目的として、県内に 6 人のキャリア支援員を配置し、きめ細かな求職者への相談支援、福祉施設・介護事業所訪問による求人開拓、働きやすい職場づくりに向けた助言等の事業を行った。

ア キャリア支援員の配置及び活動拠点

盛岡（2 人）、奥州、久慈、宮古、大船渡（各 1 人）に計 6 人配置

イ 事業実施内容 ※（ ）内は前年度実績

（ア）各ハローワーク、自治体等と連携した就労相談窓口の開設（定期的な相談日の開設出張相談、就職面接会等へ参加）及び臨時的相談対応

実施状況：求職者相談 1,597（1,422）件、マッチング数 153（123）人

（イ）福祉施設・事業所訪問

実施状況：事業所訪問 339（387）件

（ウ）各ハローワーク、自治体、市町村社協等関係機関の訪問

実施状況：445（443）件

（エ）介護職の潜在有資格者再就職支援講座

開催地：久慈、盛岡、奥州、宮古、釜石、大船渡

参加者：33（52）人

（オ）介護施設見学バスツアー

開催地：盛岡、二戸、大船渡

参加者：14（19）人

（カ）小規模事業所を対象とした合同面談会

開催地：盛岡、久慈、水沢、宮古、釜石、大船渡、一関

参加状況：参加事業所 35（40）、参加者 76（69）人

（キ）小規模事業所合同研修会

開催地：久慈、二戸、盛岡、滝沢、花巻、北上、水沢、一関、宮古、釜石、大船渡、洋野町

実施状況：19（18）回、参加事業所 217（184）、参加者 279（316）人

（ク）介護カフェ（介護のしごと悩み相談会）

開催地：久慈、盛岡、水沢、北上、宮古、釜石、大船渡

実施状況：6（6）回、参加者 37（25）人

（ケ）介護入門的研修会

開催地：盛岡、北上、大船渡、釜石

修了者：18（14）人

（コ）メンターエルダー制度導入研修／介護人材定着支援セミナー

期日：会場：10 月 28 日 ツガワ未来館アピオ

期日：会場：2 月 6 日 WEB 開催

参加事業所：79 事業所：参加者：89 人

（サ）U・I ターンイベントへの参加

「岩手県U・Iターン就職フェア」への参加

期日：会場 8月24日 東京交通会館（東京都）

ウ 各種会議・研修会への参加

（ア）福祉人材情報システム研修会

期日・会場：4月19日（オンライン）

（イ）マッチング機能強化研修

期日・会場：12月10日、11日 全国社会福祉協議会（東京都）

（ウ）ブロック別マッチング機能強化研修

期日、会場：11月28日、29日（青森県）

（エ）スキルアップ研修会での内部研修

期日・研修テーマ：①6月26日「介護保険法改正と介護施設の働き方改革について」

②8月28日「メンタル不調者への対応について」

エ 介護の職場体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者等の福祉の仕事に対する理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所における日常業務の体験事業を実施した。

実績：体験総数44人（34）人 介護の職場への就職者25（24）人（56.6%）

オ 情報紙の発行

県内の高齢者福祉施設・事業所向け情報紙「エール」を発行した（3回）。

⑦ 保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業〔福祉人材研修部〕

県内の保育人材を確保するため、岩手県の委託事業として「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置。専任コーディネーター2人を配置し、求人求職のマッチングに向けて保育士の就職相談等の支援を行った。特に、有資格者で現在働いていない潜在保育士の再就職に向けた支援に重点を置いて事業を実施した。

ア 保育士・保育所支援センター設置事業実績

| | 潜在保育士 | その他保育士 | 保育所等 | その他施設 | 計 |
|------------|-------|--------|------|-------|--------|
| マッチング数 | 74件 | 26件 | | | 100件 |
| 相談件数（求人求職） | 534件 | 264件 | 487件 | 22件 | 1,307件 |

イ 令和6年度児童福祉研修事業（保育士人材確保）

（ア）新任保育士（就業継続支援）研修会

期日、会場、参加者：11月19日、アイーナ、参加者51人

（イ）潜在保育士（再就職支援）研修会

期日、会場、参加者：6月3日、7月16日、8月26日ふれあいランド岩手、参加者35人

ウ 県内保育所訪問・自治体等の訪問

訪問回数：49回

エ はいくの職場見学会の開催

潜在保育士の再就職を支援するため、職場見学会を開催した。

期日、参加者：7月5日、7月23日、8月6日、9月5日、9月27日（2か所で開催）、10月24日、11月6日、11月26日、12月6日、12月10日、1月24日（全12回）、参加者42人

オ はいくのしごと出張相談の実施

実施回数：41回（延べ参加者40人）

カ 広報・周知

保育士・保育所支援センター及び実施事業の周知、PRのため、Googleディスプレイ広告（期

間：5月7日～8月19日、11月1日～3月20日）、Google リスティング広告（期間：9月6日～11月2日）を掲載したほか、自治体広報紙への記事掲載を依頼し周知を図った（10回掲載）。

キ 「介護・保育・福祉の就職相談会」への出席

介護・保育・福祉の就職相談会内に保育コーナーを設置し、就職説明会を実施した。

期日、会場：7月27日、ホテルメトロポリタン盛岡本館

ク 会議への参加

北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議

（保育士・保育所支援センター分科会含む）

期日、会場：11月28～29日、アートホテル青森（青森県）

マッチング機能強化研修（保育士・保育所支援センター分科会含む）

期日、会場：12月10～11日、全国社会福祉協議会（東京都）

⑧ ふれあいランド岩手管理運営事業

いわてスポーツネットワーク事業

身近な地域で障がい者や高齢者がスポーツ活動に参加できるようにするため、地域のスポーツ振興に携わる指導者、関係団体と連携・協力を図りながら、参加者の特性に応じたスポーツ教室を開催できる人材を育成することを目的に実施した。

期日、会場：5/25、11/15 ふれあいランド岩手プール及び体育館 参加者 23 人

⑨ 民間社会福祉事業職員共済事業〔総務部〕

県内の民間社会福祉事業施設及び団体に勤務する職員の福利厚生を目的として本会が実施している民間社会福祉事業職員共済事業の財政運営の健全化を図るため、平成27年3月に策定した「積立水準回復計画」に基づき、事業の適正な運営に努めた。

総合利回りの目標は年率3.0%としており、最終の修正総合利回りは三資産バランス運用が年率△3.16%、パッシブ運用が年率△0.94%となった。

また、財政の状況を示す令和6年度末現在の責任準備金率は、前年度から1.04ポイント減少して81.42%となり、積立水準回復計画による「金融機関による収支予測計算の結果」、令和6年度の79%を2.42ポイント上回った。

ア 加入及び会費受入れ・給付状況

| 令和6年度末 加入状況 | | 令和6年度における会費受入・給付状況（百万円） | | | |
|-------------|----------|-------------------------|-------|-------|-------|
| 加入 施設団体 | 加入人数 | 会費収入 | 給付金 | （内訳） | |
| | | | | 退会給付金 | 慶弔見舞金 |
| 755 | 12,846 人 | 1,834 | 1,780 | 1,774 | 6 |

イ 資産の状況

（ア）資産運用内訳

（単位：百万円）

| | | 国内 | | 外国 | | その他 資産 | 短期 資産 | 普通 預金 | 計 |
|-----------------------|-----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------|------------------|----------|-------------------|
| | | 債券 | 株式 | 債券 | 株式 | | | | |
| 三菱 UFJ 信託 銀行 | 指定単独運用・ 包括信託 | 2,043 (28.9%) | 791 (11.2%) | 2,004 (28.4%) | 1,133 (16.0%) | 0 (0%) | 1,096 (15.5%) | - | 7,076 (100.0%) |
| | 特定単独運用・ 包括信託 | - | - | 109 | - | - | - | - | 109 |
| | 指定単独運用・ 金銭信託以外の 金銭の信託 | 3,689 (44.3%) | 1,810 (21.8%) | 1,021 (12.3%) | 1,797 (21.6%) | - | - | - | 8,317 (100.0%) |
| 岩手銀行ほか | | - | - | - | - | - | - | 2,349 | 2,349 |

| | | | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|---|-------|-------|--------|
| 合 計 | 5,732 | 2,601 | 3,025 | 2,930 | 0 | 1,096 | 2,349 | 17,733 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---|-------|-------|--------|

(イ) 資産運用の増減内訳

(単位：百万円)

| 信託区分 | 前期末残高 (A) | 期中追加額 (B) | 期末時価残高 (C) | 期中評価損益 (C)-(A+B) |
|---------------------|--------------|--------------|---------------|---------------------|
| 指定単独運用・包括信託 | 7,318 | 0 | 7,066 | -252 |
| 特定単独運用・包括信託 | 109 | 0 | 109 | 0 |
| 指定単独運用・金銭信託以外の金銭の信託 | 8,403 | 0 | 8,317 | -86 |
| 合 計 | 15,380 | 0 | 15,492 | -338 |

※期末時価残高に未収収益 26 百万円は含まない。

(ウ) 運用収益率（信託報酬控除前）

(単位：百万円)

| 信託区分 | 実現利回り | | 総合利回り | | 修正総合利回り |
|---------------------|-------|-------|--------|--------|---------|
| | 実現損益 | 利回り | 総合損益 | 利回り | |
| 指定単独運用・包括信託 | 164.3 | 2.36% | -231.7 | -3.32% | -3.16% |
| 特定単独運用・包括信託 | 0.0 | 0.04% | 0.0 | -0.07% | 0.07% |
| 指定単独運用・金銭信託以外の金銭の信託 | 129.4 | 1.85% | -78.6 | -1.12% | -0.94% |

※信託報酬は 30.5 百万円

(エ) これまでの運用実績（修正総合利回り・信託報酬控除前）

(年率)

| 年度 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|---------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 指定単独運用・包括信託 | 6.79% | 2.19% | -4.14% | 8.93% | -3.16% |
| 特定単独運用・包括信託 | 1.83% | 1.00% | -0.06% | -0.07% | 0.07% |
| 指定単独運用・金銭信託以外の金銭の信託 | — | 4.42% | -0.15% | 17.16% | -0.94% |

ウ 財政状況

(単位：百万円)

| 年度 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 責任準備金 A | 20,232 | 20,956 | 21,584 | 21,922 | 21,826 |
| 積立金 B | 15,192 | 16,116 | 16,150 | 18,077 | 17,770 |
| 差 額 B-A | △5,040 | △4,840 | △5,434 | △3,845 | 4,056 |
| 責任準備金率 B÷A | 75.09% | 76.90% | 74.82% | 82.46% | 81.42 |

※責任準備金率：将来の給付のため現時点で保有しなければならない積立金に対する積立率

積立金には、未収会費 37.9 百万円を含む

エ 積立水準回復計画

(ア) 会費の引上げ

会費及び事業主負担額を現行の 1000 分の 50 から 1000 分の 57.5 に引上げ（平成 27 年 7 月 1 日から実施）

(イ) 給付事業の見直し

慶弔見舞金のうち、死亡弔慰金の本人給付額を減額し、配偶者死亡の場合の給付を廃止（平成 27 年 4 月 1 日から実施）

健康管理助成金及び生活融資金事業を廃止（平成 28 年 3 月 31 日をもって廃止）

(ウ) 資産運用の経費の節減

資産運用リスクをできる限り回避し、目標運用利回り 3%の達成と、運営事務費（人件費、事務諸費）の節減に引き続き努める

(エ) 計画の期間

平成 27 年度から 35 年間

(オ) 定期検証の実施

毎年度末の責任準備金率と「金融機関による収支予測計算の結果」の積立比率を比較のう

え定期検証を実施

(カ) 計画の変更

計画実施後3年毎に定期検証時点での責任準備金率が「金融機関による収支予測計算の結果」の当該年度の【積立比率】を0.1ポイント以上下回った場合は、その翌年度の7月以降の会費は1000分の57.5から1000分の60に引上げ

⑩ 福利厚生センター受託事業〔総務部〕

ア 未加入及び新規加入事業所へ事業PRの実施

いわて福祉だより（パートナー）に事業案内を掲載するなどしてPRを図った。

| 年度 | 2年度 | 3年度 | 4年度 | 5年度 | 6年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 会員数（人） | 3,942 | 3,759 | 3,783 | 3,801 | 3,789 |

イ 福利厚生センター企画情報会議の実施

期日、会場：5月17日（ふれあいランド岩手）、7月12日（ふれあいランド岩手）

内容：加入法人・事業所の施設長、職員等による企画・情報委員8人、福利厚生推進員5人（7月の第2回から企画・情報委員11人、福利厚生推進員7人）にて、委員長及び副委員長の選任、魅力ある会員交流事業の企画協議、意見交換等を行った。

ウ 福利厚生センター会員交流事業の実施

| 事業内容 | 参加者数 |
|---|------|
| フルーツ狩り体験と食と癒しの仙台方面バスツアー（9月28日） | 24人 |
| オフィシャルホテルに泊まる！東京ディズニーリゾートへの旅（1月18日～19日） | 36人 |
| くつろぎのお宿で1泊2食満喫プラン（11月8日～11月30日） | 44人 |
| 劇団四季ミュージカル鑑賞『ジーザス・クライスト＝スーパースター』（11月5日） | 32人 |
| 「鉄板焼きでいただく旬の魚介と和牛ステーキ」グルメ交流会 in 盛岡（12月7日） | 50人 |
| ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング「ジョバンニ」グルメ交流会 in 盛岡（2月15日） | 34人 |
| 宮大工建築と源泉掛け流しの湯宿山の神温泉優香苑 ソウエルクラブ会員様用日帰り会食（9月1日～1月31日） | 61人 |
| グルメ交流会 in 北上「ソウエルクラブ会員様特別コース！本格鉄板焼きでいただく魚介と特選牛ステーキ」（10月1日～11月30日） | 56人 |
| グルメ交流会 in 奥州「ソウエルクラブ会員様特別コース！ブランド牛を堪能する会食会（12月1日～2月26日） | 63人 |
| 季節の花畑とオーガニックビュッフェを楽しむ自然満喫プラン（10月20日） | 37人 |
| 三陸海岸の晩秋を行く！「三陸鉄道開業40周年お座敷列車で豪華和食ランチグルメ交流会」（11月16日） | 30人 |
| 日本料理店「和の膳みや川」～地元でも大人気店の豪華和食コースを「自分時間」で楽しもう!!（12月1日～1月31日） | 59人 |
| 新春企画「三陸四季湯彩ますと乃湯」～回数券11枚セット～ソウエルクラブ会員様限定「だいたい半額」購入助成（1月15日～1年間） | 40人 |
| 本格的な「イタリア料理」「インド料理」「日本料理」～好きな時に、好きな処でスペシャルなフルコース料理をご堪能あれ!!（9月7日～10月26日） | 52人 |
| 三陸 海の幸をお腹いっぱい堪能しよう！in きよ田（2月10日～2月28日） | 51人 |
| 岩手県内日帰り温泉入浴券購入助成事業（10月1日～3月31日） | 100人 |
| 映画鑑賞割引事業（8月1日～12月31日） | 448人 |
| スキー&スノーボードリフト券購入助成事業（シーズン開始～終了） | 76人 |

(2) 地域福祉の意識の醸成

① ボランティア・市民活動センター事業〔地域福祉企画部〕

ア 研修会の開催

(ア) ボランティア活動研究会の開催（テーマ：福祉教育活動について）

期日、会場、参加者：2月28日、オンライン、17人（市町村社協職員等）

内容：基調説明、情報交換

(イ) 暮らし支えるボランティアの集い

※災害対応のため中止

(ウ) 広報研修会の開催

※災害対応のため中止

イ 多様なボランティア機会の提供とボランティア活動への参加促進

(ア) 「2024 ボランティア体験 in いわて」の実施

期間：5月1日～2月28日

プログラム提供施設数、プログラム数：25団体、31プログラム

参加者総数：1,199人

主な体験内容：施設利用者との交流や介助等の手伝い、施設行事への参加、高齢者宅の清掃・見守り活動、スノーバスターズ

(イ) ボランティア出前講座の実施

対象：企業・各種団体・学校・市町村社協等

内容：ボランティア基礎講座、キャップハンディ体験等

実績：6か所、272人参加

(ウ) いわて車いすフレンズ活動の支援（共同募金配分金事業）

対象：県内工業高校等活動参加希望校

実績：活動実施校6校 整備完了車いす33台、助成金交付4校

a いわて車いすフレンズ整備技術講習会

期日、会場：7月25日、8月22日、8月26日、8月30日、9月6日、10月18日

内容：車いす整備に関する技術指導、活動紹介等

b 活動助成

交付決定額、交付先：計49,419円、4校

c 車いす輸送費のための使用済み切手・書き損じはがきの収集活動

令和6年度実績（累計）：132団体、個人30名

(エ) 21世紀スノーバスターズプロジェクト（共同募金配分金事業）

各地域のひとり暮らし高齢者や、障がい者等の冬期間の雪かきを支援する「スノーバスターズ」活動を充実させるための取組への支援を8市町村で実施した。

活動助成 総額215,000円、8市町村10スノーバスターズへ助成

ウ ボランティア団体の支援

(ア) 岩手県ボランティア団体連絡協議会総会

期日、会場、参加者：6月21日、ふれあいランド岩手、24人

内容：令和5年度事業報告、令和6年度事業計画案、情報交換

(イ) 市町村ボランティア連絡協議会総会への出席

訪問実績：6か所

内容：ボランティアセンター事業実施に係る連携強化、活動状況等の情報収集及び当該市町村社協ボランティアセンター支援

エ 企業・団体の社会貢献活動のコーディネート

寄付・寄贈に係るコーディネート及び寄贈式の実施1件

助成金・寄付金 総額 133,930 円

福祉巡回車 1 台、車いす 21 台、使用済み切手、書き損じハガキ

オ 情報発信

(ア) 県社協ホームページ及び「ずっぱりボランティアいわて」ホームページ

県内のボランティア活動、助成金情報、研修会等の案内を発信した。

(イ) 「岩手県社会福祉協議会災害関連情報ページ Facebook」

災害ボランティアに関する活動情報等を発信した。

(ウ) 「いわての NPO・ボランティア活動情報誌 PIN - パイン」

発行、内容：年 3 回、ボランティア体験 in いわて、ボランティア保険、令和 6 年能登半島地震支援に関する寄稿、福祉教育に関する取組紹介等

カ 地域で育む福祉教育推進事業の実施

内容：市町村社協が取り組む活動費用の一部助成を実施。

実績：1 市社協、計 15,000 円を助成

キ その他

(ア) 運営委員会

期日、会場：3 月 25 日、参集（ふれあいランド岩手）及びオンライン

内容：令和 6 年度事業実施状況報告、令和 7 年度事業について

(イ) 企画委員会

<第 1 回> 期日、会場：11 月 6 日、参集（ふれあいランド岩手）及びオンライン

内容：令和 6 年度事業、県社協ボランティア・市民活動センター事業実施内容について

<第 2 回> 期日、会場：2 月 21 日、参集（ふれあいランド岩手）及びオンライン

内容：令和 7 年度事業について

② 福祉人材センター運営事業〔福祉人材研修部〕（再掲）（5～7 ページ参照）

③ 組織体制の強化 機関紙「パートナー」発行及びホームページ等による情報発信事業〔総務部〕

本会の機関紙「パートナー」を年 6 回（毎号 5,000 部）発行し、社会福祉に関する情報や本会をはじめ会員施設や市町村社協の活動を紹介するなど、見やすく分かりやすい機関紙発行に努めた。

ホームページについては、社会福祉関係者はもとより、県民が利用しやすい内容に充実・改善し、常に新しい情報の提供に努めた。

④ 岩手県社会福祉大会の開催〔総務部・地域福祉企画部〕

期日、会場、参加者：11 月 13 日（水）、トーサイクラシックホール岩手大ホール、来場者数 約 1,500 人

被表彰者数：693 人、19 団体、2 組

岩手県知事表彰（22 人、1 団体）

岩手県知事感謝状（4 人）

岩手県社会福祉大会長表彰（713 人、18 団体、1 組）

岩手県社会福祉大会長褒賞（15 人）

岩手県民生児童委員協議会会長表彰（479 人）

講演 演題「希望って何ですか？子どもの視点で考える寄り添い支援」

2 福祉サービス提供の基盤づくり

(1) 地域における相談支援体制の構築

① 市町村社会福祉協議会部会事業〔地域福祉企画部〕

ア 中期経営計画策定アドバイザー派遣事業等 3 社協 6 回

イ 新任職員研修（全 3 回コース）

《第 1 回》期日、会場、参加者：4 月 25 日、ふれあいランド岩手、16 社協 33 名

内容：講義・演習

《第 2 回》期日、会場、参加者：9 月 13 日、二戸市社協、9 社協 18 名

内容：二戸市社協本所・支所視察、講話、取組説明

《第 3 回》期日、会場、参加者：12 月 12 日、やはパーク、14 社協 26 名

内容：講義・グループワーク

ウ 中堅職員研修

期日、会場、参加者：9 月 19 日～20 日、岩手保健医療大学、7 社協 9 名

内容：講義、課題提起／ミニ講義／ディスカッション

エ 地域福祉活動先進地視察研修

期日、視察先、参加者：11 月 27～29 日、福岡県（福智町社協、福岡市社協）8 社協 15 名

内容：〈福智町社協〉（一社）地域公益活動連携協議会」（社福法人連携）、経営・運営状況等
〈福岡市社協〉終活サポート事業、ファンドレイジング、住まいサポート事業等

参加費助成：15 名×@20,000 円＝300,000 円

オ 全国研修会等参加費助成：323,340 円（5 社協）

カ 経営強化のための福祉サービス事業担当者情報交換会

期日、会場、参加者：10 月 22 日、ふれあいランド岩手、10 社協 17 名

内容：話題提供、情報交換（グループワーク）

キ 経営研修会

期日、会場、参加者：5 月 21 日、アイーナ、4 社協 6 名

内容：講義、演習

ク 岩手県と市町村社会福祉協議会部会との懇談会

期日、会場、参加者：8 月 21 日、県水産会館、社協部会 23 名、県保健福祉部 11 名、

内容：要望事項説明、県保健福祉部から回答、質疑応答、総括コメント

ケ コミュニティソーシャルワーク研究会 ※「地域づくり実践研修」に併催

【前期】期日、会場、参加者、内容：

1 月 23 日～24 日、盛岡市総合福祉センター、1 日目（22 名中、社協 7 名）、2 日目（16 名中、社協 6 名）、講義、ディスカッション

【後期】期日、会場、参加者、内容：

2 月 6 日～7 日、ふれあいランド岩手、1 日目（10 名中、社協 2 名）、2 日目（9 名中社協 2 名）、講義、取組発表、グループワーク

コ 生活困窮者支援研究会

- 期日、会場、参加者：12月20日、都南公民館、13社協19名
 内容：基調講義、情報交換、ディスカッション、全体共有
- サ 地域福祉推進トップセミナー
 期日、会場、参加者：2月5日、盛岡八幡宮、20社協42名、経営協13法人15名
 内容：基調講演、意見・情報交換
- シ 災害対応初動チーム員研修会
 期日、会場、参加者：5月30日、ふれあいランド岩手、17社協20名
 内容：能登半島地震活動報告、協議
- ス 社会福祉協議会名簿作成（9月）
- セ 岩手県市町村社会福祉協議会の現況作成（1月）
- ソ 市町村社会福祉協議会会長懇談会
 期日、会場、参加者、内容：8月29日～30日、ホテルニューカリーナ、1日目…21社協33名、
 2日目…11社協12名、基調講演・分散会
- タ 市町村社協事務局長・地域福祉担当課長会議
 期日、会場、参加者：8月2日、矢巾町公民館、27社協41名、
 内容：説明、グループディスカッション・全体共有
- チ 会務運営
 (ア) 総会 <期日、会場> 3月24日、ふれあいランド岩手
 (イ) 理事会 <期日、会場> 5月10日、7月12日、3月10日、ふれあいランド岩手
 (ウ) 幹事会 <期日、会場> 4月22日、6月28日、2月25日、ふれあいランド岩手
 (エ) 監査 <期日、会場> 5月10日、ふれあいランド岩手
- ツ 災害対応
 (ア) 令和6年能登半島地震志賀町社協災害VC：11クール延べ23名（2～6月分）
 (イ) 令和6年7月大雨災害酒田市社協災害VC：22クール延べ44名（8～10月）
 (ウ) 大船渡市林野火災大船渡市社協災害VC：延べ38名（3月分）

② 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業〔地域福祉企画部〕（再掲）
 （1ページ～2ページ参照）

③ 民生委員児童委員活動支援事業〔地域福祉企画部〕

岩手県民生委員児童委員協議会事務局を受託し、民生委員活動費等の交付事務を担った。
 また、県の補助又は委託等を受け、民生委員・児童委員の資質向上及び活動支援のための事業を行った。

ア 研修会等

(ア) 民生児童委員初任者研修

- ・ 7月12日・一関文化センター大ホール・246人
 - ・ 7月19日・トーサイクラシックホール岩手大ホール・326人 計 572人
- 内容：講義・演習 「活動に役立つコミュニケーション術」
 初任者相談コーナー「教えて 先輩！」
 情報交換

(イ) 主任児童委員研修会

期日、会場、参加者：9月20日、トーサイクラシックホール岩手大ホール、210人

内容：講義① 「主任委員制度役割と民生委員との連携」

講義② 「現代の児童課題と主任児童委員・児童委員活動」

(ウ) 民生委員等を対象とした相談事業研修

期日、会場、参加者：9月24日、ホテルメトロポリタン盛岡、135人

内容：事例学習「私に対応した相談事例」

当日取り扱った2事例に講師のコメントを加え、「私に対応した相談事例集」としてPDFデータで発行。事例学習の教材として市町村民児協へ提供。

(エ) 中堅民生委員児童委員研修会

期日、会場、参加者：10月23日、トーサイクラシックホール岩手大ホール、414人

内容：講義「地域ぐるみで災害に備えるために～災害における民生委員の役割とは～」

(オ) 市町村民児協会長・副会長研修会

期日、会場、参加者：令和7年1月30日～31日、ホテル千秋閣、314人

内容：講演「一斉改選年度において、地区民児協に期待される取組」

説明「民生委員調査等の見直しに係る生活福祉資金貸付制度運営要領の一部改正等について」

説明「特殊詐欺被害の防止について」

活動事例発表、行政説明

(カ) 岩手県保健福祉部と岩手県民生委員児童委員協議会との懇談会

期日、会場、参加者：11月25日、エスポワールいわて、19人

懇談内容：民生委員・児童委員の欠員解消、負担軽減、主任児童委員活動推進、PR活動の充実等

(キ) 岩手県民生委員児童委員協議会役員による県知事表敬訪問

期日、会場、参加者：11月29日、岩手県庁、12人

イ 指定民生委員児童委員協議会の推進

(ア) 県社協指定

指定期間：令和5～6年度

指定民児協：希望なし

(イ) 県民児協指定

指定期間：令和6～7年度

指定民児協：奥州市水沢地区

ウ 互助事業の実施

民生委員が死亡・傷害、被災、配偶者死亡の際、弔慰金や見舞金の給付を行った。

給付件数、金額：119件、1,372,000円

| | | | |
|-----|-------------------|-----|----------|
| 内訳： | 公務傷害 | 5件 | 150,000円 |
| | 一般死亡 | 16件 | 480,000円 |
| | 配偶者死亡 | 16件 | 160,000円 |
| | 一般傷病(2か月未満) | 6件 | 48,000円 |
| | 一般傷病(2か月以上) | 36件 | 360,000円 |
| | 退任慰労(在任9年未満) | 22件 | 66,000円 |
| | 退任慰労(在任9年以上15年未満) | 9件 | 45,000円 |
| | 退任慰労(在任15年以上) | 9件 | 63,000円 |
| | 災害見舞金(全壊・大規模半壊) | 0件 | 0円 |

エ 助成事業

(ア) 広域民生児童委員研修等事業費の助成

研修事業の実施を支援するため、10 広域圏へ助成実施案内を送付、10 広域圏から助成申請を受け、民生児童委員協議会又は社会福祉協議会に助成金を交付した。

(イ) 市町村民生児童委員 OB 会への助成

市町村民生児童委員 OB 会組織・活動状況調査により活動を確認した 10 市町の 13 組織に対し、助成金を交付した。

(ウ) 東日本大震災に関連する対応（県補助事業）

沿岸地区民児協訪問事業

4 市町の地区民児協会長及び副会長を対象に、正副会長が訪問し意見交換を実施。報告書 430 部を発行。

| 対象市町 | 期日 | 会場 | 参加者数 | 計 |
|------|-----------|------------------|------|-------|
| 大船渡市 | 12 月 5 日 | 大船渡市民文化会館リアスホール | 64 人 | 118 人 |
| 大槌町 | 12 月 6 日 | 大槌町文化交流センターおしゃっち | 13 人 | |
| 山田町 | 12 月 18 日 | 山田町中央公民館 | 24 人 | |
| 釜石市 | 12 月 19 日 | 釜石市民ホール TETTO | 17 人 | |

オ 広報・啓発活動

いわて県民児協だより 3,980 部の発行

(2) 権利擁護の推進

① 日常生活自立支援事業〔地域福祉企画部〕

県内 12 基幹社協に専門員 22.5 人（予算上：実配置 26 人）、生活支援員 186 人を配置し、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等、判断能力の不十分な方に対する援助を実施。

【実利用者数】令和 7 年 3 月 31 日現在

| 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 | その他 | 計 |
|---------|---------|---------|------|-----------------------|
| 284 人 | 288 人 | 373 人 | 19 人 | 964 人 (うち生保 346 人) |

ア 契約締結審査会の開催

回数、会場、参加者：12 回、岩手県民生活センター、委員 6 人及び基幹社協専門員等

イ 専門員情報交換会

回数、会場：毎月契約締結審査会後に開催（8 月、2 月を除く）、岩手県民生活センター
参加対象者：専門員等 26 人

テーマ：業務に当たっての留意事項、各地域における支援の実施状況の共有等

ウ 定期業務点検

期間、対象：7 月～11 月、利用者ケースのある全市町村社協（支所、支部、事務所等を含む）
点検内容：日常的金銭管理の状況、個別ケース検討等

エ 事業説明等（県社協対応分）

運営監視小委員会、各基幹社協関係機関連絡会議等

② 成年後見推進支援事業〔地域福祉企画部〕

ア 成年後見コーディネーターの取組（一関市社協に 0.5 人を配置）

日常生活自立支援事業利用者等に対する成年後見制度利用支援実績
支援者数：1 人（知的障がい者等区分の利用者：後見類型）

※ 県内の成年後見制度利用支援実績 28 名

（コーディネーター配置が終了した地域では専門員が支援を継続）

【内訳】後見 20 人、保佐 8 人（高齢者 17、知的障がい者 5、精神障がい者 5、その他 1）

イ 研修会

(ア) 新任専門員研修会

期日、会場、参加者：4月23日、ふれあいランド岩手、13人

内容：説明（事業概要、実務の流れ）、講義（専門員活動の実際）

(イ) 新任生活支援員研修会

期日、会場、参加者：5月24日、アイーナ、22人

内容：説明（事業概要、実務）、講義（利用対象者の理解）、実践紹介

(ウ) 専門員研修会

期日、会場、参加者：8月20～21日、岩手教育会館、26人

内容：事例検討、講義（自筆証書遺言書講座／任意後見制度と死後事務委任契約／法テラスの事業内容と役割）

(エ) 専門員・生活支援員研修会

期日、会場、参加者：12月3日、アートホテル盛岡、70人

内容：事業概況説明、講義（発達障がいについて／成年後見制度について）、情報交換

(オ) 情報交換会：毎月1回（1月、2月を除く）

(カ) 市町村・中核機関等の職員向け研修

期日、会場、参加者：7月30日、岩手教育会館、36人

内容：説明（県内の取組概況）、実践報告（成年後見制度利用促進の取組）、情報交換

(キ) 市町村長申立支援講座

期日、会場、参加者：8月26日、ふれあいランド岩手、43人 ※オンライン開催

内容：講義（市町村長申立ての手続方法／申立て書類の作成に当たっての留意事項等／市町村長申立ての実務）

(ク) 成年後見制度普及・権利擁護体制整備研修

期日、会場、参加者：1月16日、アイーナ、181人

内容：講義（成年後見制度の概要／県内の利用概況）、パネルディスカッション（後見事務における意思決定支援の取組）

③ 障がい者不利益取扱解消支援事業〔地域福祉企画部〕

ア 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業

相談実績：2件（電話受付2件）

イ 障がい者不利益取扱い相談窓口職員研修事業

【会場開催】

期日、会場、参加者：3月3日、アイーナ、26人

内容：行政説明「本県における相談対応の概況について」、講義「相談対応の流れについて」、演習（事例検討）「事例を踏まえた望ましい相談対応について」

【オンデマンド開催】

期日、参加者：3月17日～28日、52人 ※動画配信による開催

内容：行政説明及び講義部分の配信

④ 福祉サービス苦情解決事業〔福祉サービス運営適正化委員会〕

ア 苦情解決小委員会の開催

委員数・開催回数：委員6人 計7回開催

内容：苦情案件対応協議、苦情受付状況報告、巡回訪問・情報交換会実施報告

イ 福祉サービスの苦情を考えるセミナーの開催

期日、会場、参加者：7月3日、アイーナ、291人

講演内容：「苦情・クレームへの電話対応」及び「今の時代に求められる苦情対応とは」

- ウ 福祉サービス苦情解決情報交換会（基礎研修）の開催
開催回数・参加者数：計 11 回（集合 11）、235 人（県内各地で開催）
内容：苦情解決の仕組み、事例の説明。苦情受付体制・苦情対応等に関する情報交換
- エ 福祉サービス苦情解決情報交換会（応用研修）の開催
期日、会場、参加者：10 月 11 日、水沢地区センター、18 人
11 月 12 日、アイーナ、30 人
内容：苦情解決に関する事例検討及び講師による助言
- オ 事業所巡回訪問の実施
実施事業所：40 か所
内容：苦情解決体制の確認、苦情解決の手引き・ポスター等の提供、苦情解決への助言
- カ 事業所主催の研修会等への講師派遣
派遣回数・参加者数：計 5 回、62 人
- キ 苦情・相談の受付の概要
苦情相談 36 件、一般相談 104 件、計 140 件

(ア) 受付別件数

| 来所 | | 受付方法 | | | | 合計 | |
|----|----|------|----|----|----|----|-----|
| | | 書面 | | 電話 | | | |
| 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 | 苦情 | 一般 |
| 3 | 1 | 3 | 8 | 30 | 95 | 36 | 104 |

(イ) 苦情内容別件数

| 苦情内容 | 件数 | 福祉サービスの種類 | 件数 | 対応・解決の状況 | 件数 |
|-----------|----|-----------|----|--------------|----|
| ①職員の接遇 | 15 | ①高齢者 | 4 | ①当事者間の話し合い推奨 | 2 |
| ②サービスの質や量 | 14 | ②障がい者 | 20 | ②専門機関紹介・伝達 | 1 |
| ③説明・情報提供 | 1 | ③児童 | 7 | ③助言・申し入れ | 29 |
| ④利用料 | 1 | ④その他 | 5 | ④事情調査 | 0 |
| ⑤被害・損害 | 2 | | | ⑤あつせん | 0 |
| ⑥権利侵害 | 3 | | | ⑥知事通知 | 1 |
| ⑦その他 | 0 | | | ⑦その他 | 3 |
| 合計 | 36 | 合計 | 36 | 合計 | 36 |

- ク 広報啓発
広報紙パートナー5月号に苦情解決事業の概要を掲載。ホームページに運営適正化委員会の役割、事業報告書、アンケート調査報告書等を掲載。苦情体制ポスターを作成及び配布した。
- ケ 調査研究
苦情解決事業アンケート調査を 596 事業所に実施、報告書を取りまとめた。
苦情解決セミナー報告書を取りまとめた。
- コ 運営監視小委員会の開催及び現地調査の実施
委員数・開催回数：委員 8 人 開催 5 回（対象：県社協及び 5 基幹社協）、現地調査 7 回
内容：岩手県社会福祉協議会が市町村社協福祉協議会と連携して実施する日常生活自立支援事業に関し、定期報告を求めるとともに現地調査を行った。必要に応じて助言を行った。
- サ 運営適正化委員会全体会の開催
委員数・開催回数：委員 14 人 開催 2 回
内容：事業報告・事業計画及び収支予算の承認、委員長互選、苦情解決小委員会及び運営監視小委員会の委員の指名について
- シ 委員選考委員会の開催
委員数・開催回数：委員 6 人 開催 1 回

(3) 総合的な福祉サービスの提供とサービスの質の向上

① 市町村社会福祉協議会部会事業〔地域福祉企画部〕（再掲）（13～15 ページ参照）

② 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業（再掲）（1 ページ参照）

③ 民生委員児童委員活動支援事業〔地域福祉企画部〕（再掲）（15～17 ページ参照）

④ 福祉サービス第三者評価事業〔福祉経営支援部〕

岩手県福祉サービス第三者評価機関として、県内の福祉施設の評価を実施したほか、評価者養成研修会等を実施した。

ア 第三者評価の実施

4 事業所

高齢者施設 0 か所、障がい児（者）施設 1 か所、社会的養護関係施設 2 か所、保育所 0 か所、救護施設 1 か所

イ 会議の開催

事前合議、合議、決定委員会 各 4 回開催

ウ 研修会の開催

（ア）評価調査者スキルアップ研修会（評価調査者の会との共催研修）

期日、会場、参加者：5 月 21 日、9 月 17 日、両日ともふれあいランド岩手、21 人及び 13 人

（エ）社会的養護等施設評価調査者の養成研修

養成研修：受講なし、継続研修：5 人

（オ）評価調査者指導者の養成研修

養成研修：7、8 月（集合型）、1 人

⑤ 社会福祉従事者研修・資格取得講座〔福祉人材研修部、福祉経営支援部〕（再掲）（3 ページ～4 ページ参照）

⑥ 福祉サービス運営適正化委員会事業〔運営適正化委員会〕（再掲）（18 ページ～19 ページ参照）

3 福祉サービス提供の仕組みづくり

(1) 生活に困難を抱える方への支援

① 生活福祉資金貸付事業〔地域福祉企画部〕

ア 貸付実績等

市町村社協及び自立相談支援機関等と連携し、低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長等を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収した方への特例貸付については、住民税非課税等の償還免除要件に合致する貸付について償還免除を行った。

あわせて償還遅延世帯に対しては、市町村社協の協力を得て、架電や訪問による生活状況の把握と相談支援を実施するとともに、償還指導面接を実施し、償還に関する相談支援を実施した。

（ア）本則（コロナ特例貸付を除く分）の対応

a 総合支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 923 件、貸付中金額 405,178 千円（うち最終償還期限後債権数 462 件）

【令和 6 年度の申請及び貸付決定状況】

| 区 分 | 申 請 | 決 定 |
|-----|----------|----------|
| 件 数 | 9 件 | 7 件 |
| 金 額 | 3,702 千円 | 2,652 千円 |

【貸付決定資金種内訳】

| 資金種 | 件 数 | 金 額 |
|---------|-----|----------|
| 生活支援費 | 7 件 | 2,652 千円 |
| 住宅入居費 | 0 件 | 0 千円 |
| 一時生活再建費 | 0 件 | 0 千円 |
| 合 計 | 7 件 | 2,652 千円 |

(b) 償還実績

償還金は 14,630 千円、償還完了件数 28 件

b 福祉資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 2,417 件、貸付中金額 548,680 千円（うち最終償還期限後債権数 1,575 件）

【令和 6 年度の申請及び貸付決定状況】

| 区 分 | 申 請 | 決 定 |
|-----|-----------|-----------|
| 件 数 | 217 件 | 208 件 |
| 金 額 | 51,953 千円 | 43,710 千円 |

【貸付決定資金種内訳】

| 資金種 | 件 数 | 金 額 |
|----------|-------|-----------|
| 福祉資金 | 83 件 | 33,928 千円 |
| 緊急小口資金 | 125 件 | 9,782 千円 |
| 生活復興支援資金 | 0 件 | 0 千円 |
| 合 計 | 208 件 | 43,710 千円 |

(b) 償還実績

償還金 59,692 千円、償還完了件数 202 件

c 教育支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 7,556 件、貸付中金額 4,792,071 千円（うち最終償還期限後債権数 491 件）

【令和 6 年度の申請及び貸付決定状況】

| 区 分 | 申 請 | 決 定 |
|-----|-----|-----|
|-----|-----|-----|

| | | |
|-----|------------|------------|
| 件 数 | 303 件 | 291 件 |
| 金 額 | 186,528 千円 | 180,450 千円 |

【貸付決定資金種内訳】

| 資金種 | 件 数 | 金 額 |
|-------|-------|------------|
| 教育支援費 | 151 件 | 129,548 千円 |
| 就学支度費 | 140 件 | 50,902 千円 |
| 合 計 | 291 件 | 180,450 千円 |

(b) 償還実績

償還金 314,086 千円、償還完了件数 172 件

d 不動産担保型生活資金

令和 6 年度の申込受理は要保護世帯向け不動産担保型生活資金 3 件あったが、成年後見制度利用検討のため契約締結手続きを中断しているものが 1 件、翌年度に契約手続きを行うこととなったものが 2 件あり、年度内に貸付契約に至ったものはなかった。

貸付中債権の状況は次のとおり。

なお、年度内に不動産担保型生活資金 1 件、要保護世帯向け不動産担保型生活資金 1 件の計 2 件が償還完了となった。

| 資金種 | 貸付中件数 | 貸付限度額の合計 |
|---------|-------|------------|
| 一般 | 3 件 | 41,706 千円 |
| 要保護世帯向け | 37 件 | 200,494 千円 |
| 合 計 | 40 件 | 242,200 千円 |

e 離職者支援資金貸付事業(平成 12 年度創設／平成 21 年 9 月廃止)

年度末の貸付中件数 17 件、貸付中金額 9,838 千円(うち最終償還期限後債権数 17 件)。
償還実績は 349 千円の償還があり、償還完了は 31 件。

f 臨時特例つなぎ資金貸付事業(平成 21 年度創設)

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数 6 件、貸付中金額 300 千円(うち最終償還期限後債権数 6 件)

【令和 6 年度の申請及び貸付決定状況】

| 区 分 | 申 請 | 決 定 |
|-----|------|------|
| 件 数 | 0 件 | 0 件 |
| 金 額 | 0 千円 | 0 千円 |

(b) 償還実績

償還金 12 千円、償還完了件数 0 件

(イ) コロナ特例貸付分(緊急小口資金、総合支援資金)の対応

a 貸付中債権の状況

年度末の貸付中件数及び金額は下表のとおり。

償還実績は緊急小口資金が 133,981 千円、総合支援資金 40,094 千円。償還完了は 1,209 件(緊急小口資金 1,185 件、総合支援資金 24 件)

【令和 6 年度末における未償還金残高】

| 資金種 | 貸付中件数 | 貸付中金額 |
|--------|---------|--------------|
| 緊急小口資金 | 2,248 件 | 300,022 千円 |
| 総合支援資金 | 2,452 件 | 1,127,504 千円 |
| 合 計 | 4,700 件 | 1,427,526 千円 |

b 償還免除の状況

コロナ特例貸付の対応では、国の示す償還免除要件に該当する場合には償還免除できる取扱いとなっている。令和6年度においても、住民税非課税の償還免除の案内及びその他の償還免除要件（生活保護受給、障害要件、死亡等）を借受人へ周知し、申請受付及び償還免除の決定処理を行った。

【コロナ特例貸付償還免除決定状況】（令和7年3月末時点）

| 資金種 | 令和6年度 | | 累計 | |
|--------|-------|------------|-------|--------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 緊急小口資金 | 203 | 29,762 千円 | 2,966 | 512,013 千円 |
| 総合支援資金 | 523 | 262,203 千円 | 2,280 | 1,143,699 千円 |
| 合 計 | 726 | 291,965 千円 | 5,246 | 1,655,712 千円 |

(ウ) 借受人へのフォローアップ支援

償還免除の要件に該当しない借受人は令和5年1月から順次償還開始となっている。コロナ禍の継続や物価高騰等、厳しい社会・経済状況が続く中、市町村社会福祉協議会や自立相談支援機関等と連携し、生活に困窮する借受人世帯への架電や訪問、面談等による相談支援等を行うとともに、相談支援等による生活の立て直しや再建に向けた償還猶予や少額返済等のフォローアップを行った。

また、償還開始後、自立相談支援機関と連携し、償還猶予等を活用しながら支援を行った結果、生活再建に至らず償還免除となった貸付が4件あった（上記（イ）の免除件数に含む）。

【償還支援及び相談支援等の対応件数】

5,710 件

【償還猶予・少額返済の決定状況】

| 資金種 | 償還猶予 | 少額返済 |
|--------|-------|-------|
| 緊急小口資金 | 68 件 | 114 件 |
| 総合支援資金 | 76 件 | 69 件 |
| 合 計 | 144 件 | 183 件 |

イ その他事業運営

(ア) 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

a 新任者研修

期日、会場、参加者：5月30日、ふれあいランド岩手、25人

内容：制度説明及び相談支援の知識・技術向上を目的とする実践発表等

b 現任者研修（事務説明会）

期日、会場、参加者：6月20日、21日、ふれあいランド岩手、56人

内容：複合的な課題を抱える相談者への相談支援、過度な要求を行う相談者への対応

方法、特例貸付の状況及び特例貸付借受人へのフォローアップ支援に係る説明、生活困窮者支援に係る実践発表等

c 現任者研修（事務説明会）

期日、会場、参加者：3月12日、オンライン、56人

内容：本則及びコロナ特例貸付に係る事務説明会教育支援資金における教育支援費及び就学支度費の対象経費の整理、教育支援資金等の借入期間中に連帯借受人が破産した場合の取扱い、コロナ特例貸付の償還猶予後免除の取扱い、借受人へのフォローアップ支援の報告依頼等

(イ) 償還指導の実施

26市町村社協で実施（延べ35日）

(ウ) 生活福祉資金相談員の配置（市町村社協）

28市町村社協

(エ) 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

本委員会1回（8月23日）

小委員会1階

(オ) 県民への広報活動

本会のホームページや広報紙で制度周知を行ったほか、各市町村社協において住民への周知を行った。また、全体版パンフレット・教育支援資金リーフレットを作成し、関係機関、関係団体へ配付した。教育支援資金リーフレットは、中学校、高等学校、大学、専門学校等教育機関へも配布した。

② 盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業〔地域福祉企画部〕

ア 相談件数等

| | |
|-----------|------|
| 新規相談 | 168件 |
| 自立プラン作成 | 47件 |
| 家計再生プラン作成 | 18件 |
| 就労・増収率 | 100% |
| 食料支援 | 89件 |

イ 支援調整会議の開催（計33回）

会場：県央5町（雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）の社協、町役場会議室

内容：自立支援プランの適切性及び終結評価等の協議

出席者：盛岡広域振興局保健福祉環境部保護課、各町生活保護担当課、町社協、地域包括支援センター、障害者地域生活支援センター、ハローワーク盛岡、社会福祉法人、弁護士、県社協等 ※ケースに応じて随時関係機関の参集範囲を変更

期日：雫石町 7月16日、9月30日、12月27日（書面開催）

葛巻町 6月24日、10月10日（書面開催）、2月20日

岩手町 5月24日、6月25日、7月24日、11月25日、12月18日、2月3日

紫波町 4月8日、5月13日、6月10日、7月8日、9月9日、10月15日、11月11日、12月9日、1月20日、2月17日、3月10日

矢巾町 4月9日、5月7日、6月4日、7月9日、8月6日、9月10日、10月8日、12月10日、1月14日、3月4日

③ ひとり親家庭等総合支援事業〔地域福祉企画部〕

ア 岩手県ひとり親家庭等サポートネットワーク会議の開催

地域におけるひとり親家庭等を支える仕組みづくりを推進するネットワークを構築するた

め、関係団体等の代表者によるネットワーク会議を開催した。また、本会議構成団体によるメーリングリストを作成し、ひとり親支援に関連する情報共有体制を構築した。

第1回

期日、会場：7月11日、ふれあいランド岩手

内容：令和5年度実績報告、令和6年度事業計画、令和5年度ひとり親世帯等実態調査結果報告、情報交換

第2回

期日、会場：2月17日、ふれあいランド岩手

内容：講義「養育費・面会交流・共同親権について」

公益財団法人岩手家庭問題情報センター 主任研究員 魚住英昭 氏

イ 地域における連携体制の構築支援

広域振興局保健福祉環境部等（9圏域）において設置する「ひとり親家庭等サポート地域ネットワーク会議」の運営支援及び会議への出席を行った。

期日、圏域：6月25日（気仙）、7月3日（胆江）、7月31日（二戸）、10月2日（宮古）、
10月22日（花巻）、1月31日（盛岡）、3月4日（久慈）、3月（釜石/書面開催）、
7月31日・11月28日（一関）

ウ 支援者研修の実施

地域でひとり親家庭等の支援に携わる支援者の対応力向上のため、次のとおり研修を実施した。

（ア）民生委員・児童委員対象

内容、圏域：「ひとり親家庭支援の現状」、12月20日（住田町民生児童委員定例会）

内容：リーフレット配布及び事業説明（振興局担当課）

圏域：11月6日（久慈）、11月28日（胆江）、12月19日（一関・平泉）

（イ）支援者対象

期日、会場：11月7日（県南会場）※中部圏域ネットワーク会議共催

11月12日（沿岸会場）※気仙地域ネットワーク会議共催

11月22日（盛岡会場）※盛岡地域ネットワーク会議共催

11月26日（県北会場）※久慈地域ネットワーク会議共催

内容：「こころの不調を抱える方へのかかわり方」

県精神保健福祉センター 主査保健師兼精神保健福祉相談員 高橋愛 氏

「自殺対策」 各広域振興局保健課及び保健福祉環境センター 保健師

エ ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応

（ア）ひとり親家庭等やその支援者を支援するため、ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応を次のとおり行った。

相談対応件数：296件、（うち新規相談件数82件）、（延べ件数757件）

（イ）ひとり親家庭等支援施策ガイドブック等を用いた情報発信

ホームページの情報を更新、公式LINEの開設、支援団体紹介レポートの発信

オ 家計相談・生活支援個別相談

ひとり親家庭等の家計管理に関する課題解決のため、ファイナンシャルプランナー等の資格を有する者による支援を行った。

（ア）講習会（オンデマンド配信期間：3月6日～3月20日）

視聴申込：公式LINE登録者（24名）、関係団体（7団体）

視聴回数：「子どもの養育費」（72回）、「ひとり親のライフプラン」（36回）

「ひとり親の家計術」（47回）

（イ）個別相談：13回（13人）

④ ひとり親・児童養護施設退所者等貸付事業〔福祉経営支援部〕（再掲）
（3 ページ参照）

⑤ IWATE あんしんサポート事業〔福祉経営支援部〕

ア 組織の状況

参画法人：90 法人

あんしんサポート相談員：331 人

イ 活動状況

- （ア）生活困窮世帯等への支援 159 件 4,026,302 円
（イ）中間的就労の場「就労準備ボランティア」の実施 1 法人、体験者数 1 人
（ウ）子どもの居場所「フリースペース」の実施 1 法人、利用者数 70 人

ウ 研修の実施

（ア）あんしんサポート相談員養成研修

＜第 1 回＞ 期日、会場、参加者：7 月 4 日、岩手県水産会館、43 人

＜第 2 回＞ 期日、会場、参加者：2 月 14 日、マリオス、14 人

（イ）生活困窮者支援研修会

期日、会場、参加者：1 月 16 日、マリオス、34 人

エ 市町村社協等関係機関とのネットワーク会議（情報交換会）

沿岸ブロック：2 月 26 日、 、20 人

オ 会務の運営

（ア）IWATE・あんしんサポート事業運営委員会 未開催

（イ）IWATE・あんしんサポート事業連絡会議（県保健福祉部四課との情報交換）

期日、会場、参加者：5 月 14 日、岩手県水産会館、10 人

⑥ 障がい者就労・社会参加支援事業〔福祉経営支援部〕

ア 農林水産業者等と事業所の役務等の業務受注に向けたマッチング支援

（ア）事業所と農林水産業者等とのマッチング支援

（検討中、紹介のみ、不成立を除く）

| 種 別 | 成立案件数 |
|-----------|-------|
| 農・水・林福連携 | 13 件 |
| 役務請負 | 144 件 |
| 商品開発・食品加工 | 4 件 |
| 商品取引・イベント | 61 件 |
| 合計 | 222 件 |

※マッチング実事業所数 408 事業所（延べ）

（イ）事業所の商品や役務の調査及びデータベース化

障がい者就労支援事業所を訪問し、保有する資機材等の設備、受注している作業等を調査新規訪問事業所 42 事業所、再訪問事業所 11 事業所

（ウ）（ア）の取組状況及び（イ）で整理した情報の発信

企業等からの作業依頼があった際、把握した情報を基にマッチング又は受託可能な事業所の情報提供を実施。

なお、情報発信については、岩手県と協議しながら発注先に必要な情報を網羅しているかを確認しながら、発信する情報内容及び発信方法を検討していく。

イ 普及啓発及び販路拡大支援

(ア) 事業所製品の周知及び販売会の開催 5回

7月27日 ふれあいマーケット in チャレンジいわてアビリンピック 2024

9月19～21日 福祉バンク大市 in 宮古・マリンコープ DORA

10月23日 令和6年度中堅民生委員児童委員研修会

11月13日 第77回岩手県福祉大会

12月13日 働く障がい者応援フェア

(イ) 農福連携マルシェ 2回

9月1日 農福マルシェ in ふれあいランド祭 2024

12月9日 農福マルシェ in ふれあいランド祭 (開館30周年)

ウ 事業所向け研修会等

(ア) 農林水産業者等が障がいや障がい者を理解するための研修会の開催

開催回数2回、参加者23人

(イ) 事業所職員が農林水産業等を理解する施設職員向けセミナーの開催

開催回数4回、参加者44人、事業所71人

(ウ) アドバイザー派遣

実施回数4回、アドバイス先事業所延べ4か所

エ その他、事業に必要な調査、課題把握及び事業実施の効果と検証

ア～ウを実施するために必要な調査、課題把握及び事業実施の効果と検証

農福連携の課題把握、検証のための会議への参加及び訪問活動

下記のとおり検証会議や同行、打ち合わせを通じ課題を把握するとともに、本会コーディネーターによる助言、関係調整など、マッチングの新規成立及び継続支援を行った。

・農・水・福連携に係る施設訪問、打合せ 55回

・役務請負(商品開発・食品加工以外)に係る施設訪問、打合せ 210回

・商品開発・食品加工に係る施設訪問、打合せ 9回

・商品取引・イベントに係る施設訪問、打合せ 109回

⑦ 共同受注窓口事業 [福祉経営支援部]

取扱売上高 31,642,067円

ア 令和7年3月末の加入事業所 152事業所(重複契約あり)

販売契約 59事業所

役務・請負契約 93事業所

イ 商品販売売上総額(常設店舗売上) 14,408,893円

販売先: イオンスーパーセンター(株)、イオン東北(株)、岩手県産(株)、岩手空港ターミナルビル(株)、岩手県自動車整備商工組合、ゆこたんの森

ウ 手数料収入

(ア) 日本ハムマーケティング

お中元・お歳暮ギフト販売手数料 28,038円

(イ) 自販機販売手数料

日本セルフセンター販売手数料 31,993円

東北地区社会就労センター販売手数料

エ 役務・請負委託業務の受注 受注総額 15,506,083円

(ア) 役務・請負委託業務の受注

官公庁、企業、本会種別協議会を中心に、140業務 15,506,083円を受注

(イ) 農業に関する作業(農福連携)業務の受注

委託業者への事業所紹介 3件 128,719件

(ウ) 商品開発・食品加工

3 件 ※受注額は (ア) に計上

オ 商品取引 (県内外の企業、福祉事業所との取引含む)・イベントでの出店販売

61 件 売上 1,559,872 円

カ ホームページを活用した加入事業所の活動紹介及び商品情報の発信

いわては一とふる図鑑セレクトショップホームページ (共同受注センターホームページ) に
会員事業所製品情報を掲載

掲載情報: 食品、飲料、雑貨、ギフト商品

キ マッチング以外の案件による売上

1 件 38,500 円

② 種別協議会活動推進事業 [福祉経営支援部]

ア 社会福祉法人経営者協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場: 3 月 13 日、ふれあいランド岩手

b 幹事会

期日、会場: 5 月 14 日、水産会館

12 月 10 日、ホテルニューカリーナ

3 月 4 日、マリオス

c 正副会長会議

期日、会場: 8 月 8 日、ふれあいランド岩手

: 3 月 4 日、マリオス

d 地域公益活動専門部会会議

期日、会場: 5 月 14 日、水産会館

12 月 10 日、ホテルニューカリーナ

3 月 4 日、マリオス

e IWATE・あんしんサポート事業連絡会議

期日、会場: 5 月 14 日、水産会館

(イ) 研修会の開催

a 中長期経営計画策定セミナー

期日、会場、参加者: 1 月 29 日、岩手県水産会館、50 人

b 地域福祉推進トップセミナー

(岩手県社協市町村社会福祉協議会部会との共催)

期日、会場、参加者: 2 月 5 日、盛岡八幡宮、58 名

c 都道府県経営協セミナー (前期)

(全国経営協との共催)

期日、会場、参加者: 9 月 12 日、ホテルニューカリーナ、46 名

d 都道府県経営協セミナー (後期)

(全国経営協との共催)

期日、会場、参加者: 2 月 18 日、アートホテル盛岡、32 名

e あんしんサポート相談員養成研修

(第 1 回)

期日、会場、参加者: 7 月 4 日、岩手水産会館、43 名

(第 2 回)

- 期日、会場、参加者：2月14日、マリオス、14名
- f 生活困窮者支援研修会（あんしんサポート相談員スキルアップ研修会）
期日、会場、参加者：1月16日、マリオス、34名
- (ウ) IWATE 子ども夢基金事業の実施（青年会事業：岩手県民共済の助成により実施）
- a IWATE 子ども夢基金事業
内容、助成人数：生活困窮世帯の子どもが対象、助成6人（応募6人）
- (エ) 関係機関団体との連携
- a 北海道・東北ブロック協議会会長会議
期日：4月、7月、10月、11月、12月、1月、2月
- b 全国経営協ブロック会議（北海道・東北ブロック）
期日、会場：5月17日、仙台市
- c 第43回全国社会福祉法人経営者大会（神奈川県大会）
期日、会場：8月29日、30日、横浜市
- d 高齢者介護施設及び障がい者支援施設における原油価格・物価高騰への対応に係る緊急要望（高齢協、障がい協と合同で実施）
期日、会場：9月5日、岩手県庁
- (オ) その他
会長表彰 15法人15人を表彰
- イ 高齢者福祉協議会
- (ア) 会議の開催
- a 総会
期日、会場：3月18日、ふれあいランド岩手
- b 幹事会
期日、会場：4月26日、ふれあいランド岩手
5月24日、ふれあいランド岩手
9月5日、岩手県水産会館
2月27日、ふれあいランド岩手
- c 正副会長会議
期日、会場：1月14日、オンライン
：2月4日、オンライン
- (イ) 研修会の開催
- a 令和6年度東北ブロック老人福祉施設研究会
期日：9月13日、青森市
- b 令和6年度いわて福祉施設職員研修会
期日、会場、参加者：11月11日、ホテルエース盛岡、60名
- c 令和6年度岩手介護施設等合同入職式
期日、会場、参加者：6月18日、ホテルメトロポリタン盛岡、64名
- (ウ) 介護の質の向上に対する支援
- a 介護員養成研修事業費助成事業 3施設 30万円助成
- b 介護助手養成研修事業費助成事業 希望施設なし
- (エ) 委員会の開催
- a 制度政策委員会
期日、会場：11月28日、ふれあいランド岩手
- b 総務委員会 未実施
- c 次世代委員会

期日、会場：5月31日、ふれあいランド岩手
8月23日、ふれあいランド岩手
10月11日、マリオス
2月21日、岩手県民会館

(オ) 部会の開催

- a 特別養護老人ホーム部会（令和6年度高齢者施設職員研修会）
期日、会場：12月19日、岩手県民会館、52名
- b 養護老人ホーム部会
期日、会場：8月22日、岩手県水産会館
11月18日、ふれあいランド岩手
3月14日、ふれあいランド岩手
- c 経費老人ホーム・ケアハウス部会 未開催
- d 老人デイサービスセンター部会
期日、会場：7月25日、ふれあいランド岩手
- e 老人福祉センター部会 未開催
- f 認知症高齢者グループホーム等部会 未開催

(カ) 関係機関・団体との連携

岩手県保健福祉部長寿社会課との情報・意見交換会
期日、会場：9月5日、岩手県民会館

- (キ) 高齢者介護施設及び障がい者支援施設における原油価格・物価高騰への対応に係る
緊急要望（経営協、障がい協と合同で実施）
期日、会場：9月5日、岩手県庁

ウ 障がい者福祉協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会
期日、会場：令和7年3月5日、都南公民館
- b 幹事会
期日、会場：5月31日、アイーナ
8月9日、アートホテル盛岡
12月10日、都南公民館
2月20日、都南公民館
- c 正副会長会議
期日、会場：7月22日、ふれあいランド岩手

(イ) 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課と障がい者福祉協議会との意見交換会

期日、会場：8月9日、アートホテル盛岡

内容：意見交換

岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会提出意見交換テーマ

- ・人口減少と福祉人材不足（人材確保）への対応について
- ・物価高騰への対応策について
- ・令和6年度障害福祉サービス等報酬改定等について
- ・罪を犯した障害者の支援について

意見・要望書提出

- ・障がい福祉サービスの充実に向けた会員事業所・施設からの意見・要望の提出

- (ウ) 「物価高騰、処遇改善にかかる岩手県への要望」要望書を県知事へ提出（県社協経営協・
高齢協と合同で実施）

期日・会場：9月5日、岩手県庁

(エ) 研修会の開催

a 虐待防止・権利擁護研修会

期日、会場、参加者：5月30日、ホテルメトロポリタン盛岡本館、123人

内容：講義・演習「ご利用者が安心・安全に過ごすことができる施設づくり～虐待防止と権利擁護～」

b 精神障がい者支援研修会の開催

期日、会場、参加者：2月14日、オンライン、31人

内容：「精神障がい者の動向と県内ひきこもり支援の実態」「ひきこもり支援のポイント」

c グループホームの世話人を対象とした研修会の開催

中央ブロック

期日、会場、参加者：11月7日、ビックルーフ滝沢、140人

県南ブロック

期日、会場、参加者：10月7日、奥州市鋳物技術交流センター、33人

県北ブロック

期日、会場、参加者：11月22日、岩手県二戸地区合同庁舎、23名

沿岸ブロック

期日、会場、参加者：7月19日、大槌町文化交流センター、45名

両磐ブロック

期日、会場、参加者：11月2日、一関市ヒロセユードーム、26名

d 課題対応研修

看護職員対象

期日、会場、参加者：12月6日、ふれあいランド岩手、49人

内容：講演「認知症や認知症看護の基本」

情報交換「施設内での看護対応について」

栄養士等対象

期日、会場、参加者：1月30日、ふれあいランド岩手、27名

内容：講義「利用者にもっと、たくさん食べたい！と思われる食事の工夫」

情報交換「利用者の食生活の向上に向けて」

e 役職員研修会の開催

期日、会場、参加者：9月5日、マリオス、34名

内容：講義・ロールプレイ「メンタルヘルス研修～管理職から部下への関わり方」

(オ) 委員会、部会の開催

a 研修委員会

期日、会場：5月31日、アイーナ

b 調査研究委員会

期日、会場：5月31日、アイーナ

7月10日、ふれあいランド岩手

3月25日、オンライン

c 社会就労部会

・社会就労部会会員事業所製品販売会

(ふれあいランド祭ふれあいマルシェコーナー)

期日、会場：9月1日、ふれあいランド岩手

・岩手県社会福祉協議会共同受注センター等との協働（随時）

岩手県障がい者スポーツ大会に係る出店支援

(オ) 調査事業

- a 令和5・6年度調査研究事業「障がい福祉サービス等事業所における人材確保・定着に関する調査」の実施
- b 高齢協・障がい協調査 燃料価格・物価高騰等に係る緊急アンケート

エ 保育協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会
期日、会場：3月10日、アイーナ
- b 常任委員会
期日、会場：4月24日、6月5日、11月7日、2月20日、ふれあいランド岩手ほか
- c 正副会長会議
期日、会場：4月24日、9月18日、2月6日、ふれあいランド岩手ほか

(イ) 研修会の開催

- a 岩手県保育研究大会
期日、会場、参加者：6月13日 岩手産業文化センター及びオンライン参加者延べ389人
内容：分科会発表、ブロック大会代表発表者選考会
- b 実技講習会
期日、会場、参加者：9月26日、ふれあいランド岩手ほか、13人
- c 岩手県指定幼児教育分野保育士等キャリアアップ研修
(花巻ブロック保育協、岩手県社協・保育協主催)
期日、会場、修了者：6月6日、6月7日、8月5日、花巻市文化会館ほか修了50人
- d 「令和7年度保育研究大会」研究テーマ研修会
期日、会場、参加者：12月12日、ふれあいランド岩手及びオンライン
内容：発表原稿の作成及び発表の留意点についての講義、参考発表
- e 岩手県保育指導者セミナー
期日、会場、参加者：3月10日、アイーナ
内容：「虐待に対する地域・関係機関との連携」
※講師が乗車する新幹線トラブルにより急遽中止となり、講師資料を参加者に提供

(ウ) 部会、委員会の開催

- a 保育所長部会
期日、会場、参加者：12月17日、マリオス、53人
内容：ことばを育むために知っておきたいこと～日頃の保育での関り方について～
- b 保育者部会
期日、会場、参加者：10月31日、マリオス及びオンライン、82人
内容：発達障がいの園児の理解と保育者のかかわり

(エ) 令和7年大船渡市大規模林野火災における対応

社団法人全国私立保育連盟岩手県私立保育連盟、社会福祉法人日本保育協会岩手県支部本会（稲田会長）が大船渡市内の保育園等12施設を3月21日に訪問し、見舞金及び支支援者資を寄贈

(オ) その他

- a 北海道・東北ブロック協議会各道県保育協議会(保育士会)正副会長会議
期日、会場、参加者：10月2日～3日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング
36名

内容：協議、分科会、全大会

オ 児童福祉施設協議会

(ア) 会議の開催

a 幹事会

期日、会場：5月14日、3月18日

ふれあいランド岩手

b 正副会長会議

期日、会場：8月20日

ふれあいランド岩手

c 専門委員会

期日、会場：5月23日、7月11日、3月13日

盛岡中央卸売市場、ふれあいランド岩手。オンライン会議

(イ) 会員情報ホームページの運営

ホームページによる施設情報の更新を行った。

(ウ) 県との意見情報交換会

期日、会場：5月14日、ふれあいランド岩手（第1回幹事会開催時に実施）

(エ) 研修会の開催

a 児童福祉施設職員研修会

期日、会場、参加者：9月26日、ふれあいランド岩手17人

内容：講義「心に傷を抱えた女性（こども）とのかかわり方」

b 施設間交流研修会

期日、会場、参加者：1月30日

見学：自立援助ホームミモザ、はやて、あさひ

実践発表：ふれあいランド岩手

見学、実践発表31人

内容：3施設見学、見学施設の実践発表、情報・意見交換

c 社会養護、児童福祉施設への理解、関心を高めるための情報発信

期日、会場：7月27日 ホテル盛岡メトロポリタン盛岡ニューウイング

内容：令和6年度介護・保育・福祉の就職相談会における福祉の仕事コーナー相

談対応に専門委員5名を派遣。PR動画を活用し、学生に情報提供を行った。

(オ) 研修参加への助成

研修助成事業として、2施設（みちのくみどり学園、ことりさわ学園）に対し、

(キ) 関係機関・団体との連携

令和6年度北海道・東北ブロック母子生活支援施設研究協議会の運営協力

（社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団との連携）

(ク) その他

令和6年度予算要望の実施

期日、会場、出席者：8月29日、岩手県庁、県子ども子育て支援室長ほか3人、児童協
会長ほか3人

カ 児童館・放課後児童クラブ協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：3月19日、都南公民館

b 幹事会

期日、会場：5月15日、都南公民館

12月13日、盛岡市中央卸売市場
3月5日、ふれあいランド岩手

- c 正副会長会議
期日、会場：2月3日、ふれあいランド岩手
- d 館長等委員会、児童厚生員・放課後児童指導員等委員会
期日、会場：5月15日、都南公民館
内容：①委員長・副委員長の選任
②令和6年度の事業推進等について

(イ) 研修会の開催

- a 児童健全育成関係者レベルアップ研修会
＜第1回＞ 期日、会場：6月14日、盛岡市中央公民館
内容、参加者：児童厚生二級認定科目「健全育成論」、52人
講義「こどもの権利・利益について」、47人
＜第2回＞ 期日、会場：12月2日、盛岡市中央卸売市場
内容、参加者：児童厚生二級認定科目「個別援助活動」、40人
- b 児童館職員等研修会
期日、会場：10月30日、アイーナ
内容、参加者：児童厚生二級認定科目「配慮を要する児童の対応」、54人
演習「事例検討」、49人
- c 実技研修会
期日、会場：9月26日、ふれあいランド岩手
内容、参加者：児童厚生二級認定科目「表現活動」、51人
児童厚生二級認定科目「ゲーム・運動遊び」、42人

(ウ) 助成事業の実施

- a 第19回全国児童館・児童クラブ大会えひめ参加助成
期日、会場：2月15日～16日、松山市総合コミュニティセンター
助成内容：大会参加費及び旅費交通費の助成（1名あたり50,000円を上限）
助成決定者：3名
助成金額：150,000円（50,000円×3名分）
- b 各ブロック協議会活動助成
内容、助成金額：会員施設が所在する8ブロック、69,000円（1,000円×69か所）

(エ) 被災地児童館等への支援活動

- a いわて子どもの森主催「あそびにコンビニ」への参加（いわて子どもあそび隊）
→ 「あそびにコンビニ」1回開催中、1回出展。
- b 被災地児童館等への訪問活動
→ 11件の申込があり、10件の訪問活動を実施（残り1件は辞退）。
また、あそびのキットの提供について7件の申込があり、7か所にキットを提供。
- c 岩手県災害福祉広域支援推進機構への参画及び災害派遣福祉チーム員への登録の推進
による災害支援における児童健全育成への協力
→ 令和7年3月現在、岩手県災害派遣福祉チーム員登録者1名、新規登録者なし。

(オ) 関係機関との連携・協働

会議名：岩手県保健福祉部子ども子育て支援室と岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会との情報・意見交換会
期日、会場：7月19日、岩手県水産会館
内容、参集者：①人材確保・育成に関すること

②県の子ども・子育て施策に関すること

県子ども子育て支援室4名、当会幹事・専門委員7名、事務局2名

⑨ 介護職員等医療的ケア研修事業〔福祉人材研修部〕（再掲）（4～5 ページ参照）

⑩ ふれあいランド岩手管理運営事業〔ふれあいランド岩手〕

ア スポーツ教室

障がい者の身体機能の向上を目的とした「リハビリ&水中歩行教室」など9のスポーツ教室を延べ247回開催し、5,060人が参加した。

イ 文化教室

障がい者や高齢者等、受講者間の交流を目的とした「ものづくり教室」など7の文化教室を延べ28回開催し、405人が参加した。

ウ ボランティア養成講座

「初心者手話教室」（10回開催、116人参加）や「手話学習交流会」（6回開催、53人参加）を開催するとともに、各種ボランティア団体の活動の場を提供するなど、その育成・支援に努めた。

エ 地域交流事業（各種イベント、大会等）

ふれあいランド岩手の利用者、地域住民との交流を促進するため、利用団体などの協力を得て、各種イベントを開催した。

| イベント名 | 開催日 | 参加者数 |
|---------------------|-------------|------------|
| ちびっこキャンペーン 2024 | 4月27日～8月30日 | 延べ 1,185人 |
| ふれあい体験 2024 | 4月27日～1月7日 | 延べ 1,288人 |
| 開館30周年ふれあいランド祭 2024 | 9月1日 | 延べ 21,343人 |
| 健康測定会 | 9月7日 | 70人 |
| ふれあいスポーツフォーラム 2024 | 11月2日 | 53人 |
| さわやか交流水泳記録会 | 11月23日 | 84人 |
| さわやか交流卓球大会 | 10月26日 | 30人 |
| 体組成測定会 | 2月6日 | 103人 |

オ 支援・相談事業

地域と連携し、障がい者や高齢者への運動指導に携わる指導者に指導のノウハウを伝えるとともに、障がい者や高齢者等の利用者を対象として運動指導を実施した。また、スポーツ教室及び文化教室の修了者などによって結成された自主サークルの育成及び活動の支援に努めたほか、利用者・団体等のニーズの把握利用者等のニーズを把握し、施設運営等に資するため、施設内に「意見・提言ボックス」を設置するとともに、施設利用に関するアンケート調査を実施した。

| | | | |
|------------------|------|-----|--------|
| ・いわてスポーツネットワーク事業 | 2回 | 参加者 | 23人 |
| ・リフレッシュ教室 | 6回 | 参加者 | 134人 |
| 来館指導 | 32回 | 参加者 | 973人 |
| ・スポーツ支援事業 | 91回 | 参加者 | 1,518人 |
| 来館指導 | 11回 | 参加者 | 255人 |
| ・サポートタイム | 331回 | 参加者 | 400人 |
| 個別指導 | 5回 | 参加者 | 331人 |
| ・福祉見学・福祉体験等支援事業 | 42回 | 参加者 | 42人 |
| ・健康相談 | 24回 | 参加者 | 135人 |
| ・ボランティア支援事業 | | | |

(2) 家族等への支援

- ① 社会福祉従事者等研修・資格取得講座〔福祉経営支援部・福祉人材研修部〕
(再掲) (3～4 ページ参照)
- ② 介護職員等医療的ケア研修事業〔福祉人材研修部〕(再掲) (4～5 ページ参照)

4 福祉でまちづくり

(1) 地域福祉活動における住民活躍の仕組みづくり

- ① 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業〔地域福祉企画部〕(再掲)
(1 ページ参照)

- ② 災害ボランティアセンター等機能強化事業〔地域福祉企画部〕

ア 広域市町村ネットワーク連絡会議の開催

平時からの関係機関、関係者の「顔の見える関係」の構築を目指し、県内 10 広域で開催。

| 広域圏名 | 開催日 | 開催地 | 参加者 |
|-------|-----------|-----|------|
| 県央 | 8 月 1 日 | 滝沢市 | 33 人 |
| 花巻・遠野 | 未実施 | — | — |
| 北上 | 10 月 28 日 | 北上市 | 16 人 |
| 胆江 | 9 月 11 日 | 奥州市 | 20 人 |
| 一関 | 10 月 24 日 | 平泉町 | 38 人 |
| 久慈 | 10 月 11 日 | 普代村 | 18 人 |
| 宮古 | 11 月 9 日 | 岩泉町 | 34 人 |
| 釜石 | 9 月 26 日 | 大槌町 | 24 人 |
| 気仙 | 9 月 10 日 | 住田町 | 29 人 |
| 二戸 | 10 月 22 日 | 九戸村 | 34 人 |

イ 災害ボランティアセンター設置運営研修の実施

災害時において、市町村社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターが円滑に設置・運営されるよう、県内 10 広域で研修の実施。

| 広域圏名 | 開催日 | 開催地 | 参加者 |
|-------|-----------|-----|------|
| 県央 | 8 月 30 日 | 葛巻町 | 33 人 |
| 花巻・遠野 | 11 月 10 日 | 遠野市 | 22 人 |
| 北上 | 10 月 28 日 | 北上市 | 42 人 |
| 胆江 | 10 月 30 日 | 奥州市 | 47 人 |
| 一関 | 10 月 24 日 | 平泉町 | 69 人 |
| 久慈 | 11 月 8 日 | 普代村 | 26 人 |
| 宮古 | 11 月 9 日 | 岩泉町 | 50 人 |
| 釜石 | 10 月 18 日 | 大槌町 | 43 人 |
| 気仙 | 9 月 10 日 | 住田町 | 43 人 |
| 二戸 | 10 月 22 日 | 九戸村 | 30 人 |

ウ 三者（行政・社協・NPO）連携体制の構築に向けた研修会

- ・期日 3 月 6 日（オンライン）
- ・実践報告、活動報告、情報交換 20 人

エ 災害ボランティアセンターマネジメント研修（全社協モデル研修）

- ・12 月 9 日～10 日
- ・ふれあいランド岩手 15 名

オ 災害発生時の県社協災害 VC の立ち上げによる市町村社協災害 VC の運営支援

大船渡市林野火災に伴い県社協災害 VC を立ち上げ、大船渡市社協災害 VC の運営支援を行

った。

- カ 県社協災害 VC 設置運営マニュアル及び市町村社協災害 VC 設置運営マニュアルの改訂
※災害対応のため未実施
- キ ボランティアコーディネーター研修会の開催
※災害対応のため中止

③ 災害時広域支援ネットワーク（災害派遣福祉チーム）推進事業 〔福祉経営支援部〕

- ア 事務局体制の強化
 - ・マニュアルに基づく連絡訓練（9月27日～28日、11月1日～2日、11月10日）
 - ・局内における派遣初動訓練（9月27日～28日、11月1日～2日、11月10日）
- イ チーム員の養成（県委託業務）
新規募集：登録者13人（令和7年3月時点登録者287人）
登録研修：9月27日～28日、13人修了
スキルアップ研修1：9月12日～13日、17人修了
スキルアップ研修2：中止
県及び市町村防災訓練参加等訓練の実施：11月10日
- ウ チーム検討部会の開催（県事業）：9月20日
- エ チーム員連絡協議会の開催（県事業） 県による実施なし
- オ 災害派遣医療チーム（DMAT）、災害派遣精神医療チーム（DPAT）、保健師チームとの
合同研修の実施：11月10日
- カ 社会福祉施設における事業継続計画（BCP）の策定に係る研修の実施：10月17日
- キ 他県の研修会等でのシンポジスト、講師等対応
鳥取県 DWAT スキルアップ研修
- ク 令和7年大船渡市大規模林野火災における岩手県 DWAT の派遣
派遣期間：令和7年3月5日～18日、チーム員23名及び事務局員3名派遣

（2）多様な担い手（主体）による地域福祉活動の取組

- ① ボランティア・市民活動センター事業〔地域福祉企画部〕（再掲）
（11～13 ページ参照）
- ② 障がい者就労・社会参加支援事業〔福祉経営支援部〕（再掲）
（26～28 ページ参照）
- ③ 種別協議会活動推進事業〔福祉経営支援部〕（再掲）
（28～35 ページ参照）

（3）地域福祉活動における多様な財源の活用

① 災害復興基金事業〔総務部〕

東日本大震災後に本会に寄せられた寄付金のうち、特に使途明示のない寄付金により創設した「災害復興基金」を、本会や市町村社協が行う被災者支援活動の財源として活用した。

ア 復興基金積立額の推移

（単位：千円）

| 年度 | 積立額 | 取崩額 | 年度末残高 |
|------|-------|-----|-------|
| ～H22 | 5,563 | － | 5,563 |

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| H23～H27 | 205,311 | 53,066 | 157,808 |
| H28～R2 | 27,331 | 73,643 | 111,496 |
| R3 | 1,891 | 5,409 | 107,978 |
| R4 | 2,866 | 3,439 | 107,405 |
| R5 | 4,111 | 6,897 | 104,619 |
| R6 | 6,089 | 6,426 | 104,282 |
| 計 | 253,162 | 148,880 | |

イ 令和6年度事業執行状況 (単位：千円)

| | 市町村社協 | | 県社協 | 計 |
|-----|-------|-----|-------|-------|
| | 件数 | 金額 | | |
| 助成金 | 1 | 500 | — | 500 |
| 事業費 | — | — | 5,926 | 5,926 |
| 計 | 1 | 500 | 5,926 | 6,426 |

② 共同募金配分金を活用した地域福祉活動の推進

ア いわて・車いすフレンズ活動の実施（再掲）

（12 ページ参照）

イ 21 世紀スノーバスターズプロジェクト（再掲）

（12 ページ参照）

ウ 地域支え合いマップづくりの活動支援（再掲）

（1 ページ参照）

エ いわておげんき見守りシステムの運営（再掲）

（1 ページ参照）

オ 岩手県社会福祉大会の開催（再掲）

（13 ページ～14 ページ参照）

カ いわて福祉だよりパートナーの発行（再掲）

（13 ページ参照）

5 被災経験を活かした支援体制づくり

（1）東日本大震災津波の被災者への支援

① 東日本大震災被災者生活支援事業〔地域福祉企画部〕

ア 生活支援相談員の配置

配置人数 48 人（3 月末、うち県社協 2 人）

活動対象世帯 1,331 世帯

支援延べ回数 24,659 回

イ 研修会の開催

（ア）ファシリテーション研修（全 3 回コース）

期日、会場、参加者：第 1 回 5 月 30 日、都南公民館、13 人

第 2 回 6 月 21 日、都南公民館、14 人

第 3 回 7 月 11 日、ふれあいランド岩手、10 人

内容：講義と演習により、住民の合意形成や主体形成を促すための進行役の技術を学ぶ。

（イ）現地事例検討会 6 回

期日、会場、参加者：7 月 9 日、宮古市総合福祉センター、24 人

7月24日、山田中央公民館、43人

9月10日、大船渡市Y・Sセンター、15人

9月11日、大槌町文化交流センター、17人

10月17日、釜石市民ホール TETTO、15人

10月18日、陸前高田市保健福祉総合センター、12人

内容：沿岸6市町ごとに、社協他部署、行政、民生委員、関係機関等の多職種・多機関で事例を検討することで、重層的な支援体制につなげていくことを目的に実施。

(ウ) 支え合いマップ 勉強会 (全2回コース)

期日、会場、参加者：第1回 7月31日、大槌町文化交流センター、29人

第2回 11月26日、釜石情報交流センター、23人

内容：講義及びグループワークにより、生活支援相談員がすすめる支え合いマップのポイント、実践で生かせる工夫やコツを学ぶ。

(エ) こころの病・認知症ケア研修

期日、会場、参加者：8月29日、宮古市総合福祉センター、27人

内容：講義及び演習により、こころの病を抱えた方や認知症の方への関わりについて学ぶ

(オ) 地域をつなぐコーディネート実践研修 (全2回コース)

期日、会場、参加者：第1回 10月7日、釜石情報交流センター、18人

第2回 1月27日(大船渡会場)、

大船渡市防災観光交流センター、10人

1月28日(宮古会場)、宮古市総合福祉センター10人

内容：講義及び演習により、地域支援に関わる生活支援相談員が住民ニーズに基づいて行うコーディネートに必要な視点と手法を学ぶ。

(カ) 生活支援相談員活動研究会

期日、会場、参加者：3月18日～3月19日 ホテルメトロポリタン盛岡、32人

内容：講義、情報共有、ディスカッションにより活動の振り返りや今後の方向性の共有・検討を行う。

ウ 生活支援相談員担当課長等会議の開催

期日、会場、参加者：2月13日、オンライン、14人

内容：今後の見通しについての意見交換、県地域福祉課から「被災者支援の方向性」の説明

エ 令和6年度東日本大震災被災者実態調査研究の実施

被災者実態調査研究委員会(委員10人)

期日：6月25日、11月5日、12月26日、2月19日

内容：住民アンケート調査及びアセスメント基準票1,974件の集計・分析、調査研究報告書の作成400部及び本会ホームページへの掲載

オ 中長期的な被災者支援検討会の開催

中長期的な被災者支援検討会(委員12人)

期日：4月15日(作業部会)、5月22日、9月9日、10月25日(作業部会)、12月11日

内容：生活支援相談員による被災者支援事業を振り返り成果の検証と令和8年度以降に必要な支援の検討、被災者支援検討会報告書の作成400部及び本会ホームページへの掲載

カ 地域見守り支援拠点の設置

宮古市1、大船渡市3、陸前高田市2、釜石市1、大槌町1、山田町4(出張拠点含む)計12か所

キ 多職種・多機関による被災者支援

- (ア) 災害公営住宅等自治会継続支援への出席
計3回：山田町支援者ミーティング（自治会）
- (イ) 各種連絡会議・打合せ・マップ作成等
計32回：宮古市、大船渡市、花巻市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、内陸避難者支援ネットワーク会議、岩手連携復興ミーティング（県庁ミーティング）、北海道 NPO サポートセンター情報共有会議対応、行政・社協意見交換等
- (ウ) アドバイザーの派遣
- ・ 山田町社協（4月17日）
内容：コミュニティ形成に係るファシリテーションスキル課内研修講師
 - ・ 宮古市社協（6月26日、12月13日）
内容：支え合いマップ課内研修会講師
- ク 「生活支援相談員ニュースレター」の発行
発行月：4月～3月 計5回発行
配布対象：生活支援相談員、市町村社協、県、他県社協、全社協等関係機関
発行部数：112部／1回（その他、本会ホームページに掲載）
- ケ 生活支援相談員活動事例集2024の発行
発行月：3月
内容：講師助言コメント付きの生活支援相談員活動事例、支え合いマップの取組のレポート、地域支援活動レポート、研修実績等
配布対象：県内生活支援相談員、県内市町村社協・行政、都道府県・指定都市社協
発行部数：400部
- コ 現地連絡会議への出席

| 市町村 | 開催日 |
|-----|-------------------------------------|
| 山田町 | 4月24日、5月23日、6月18日、7月17日、8月22日、9月18日 |

（2） 今後の災害の備え

- ① 災害ボランティアセンター等機能強化事業〔地域福祉企画部〕（再掲）
（36～37 ページ参照）
- ② 災害時広域支援ネットワーク〔福祉経営支援部〕（再掲）
（37 ページ参照）
- ③ 災害復興基金事業〔総務部〕（再掲）
（37 ページ～38 ページ参照）

6 組織・活動基盤の強化

（1） 組織体制の強化【総務部】

- ア 階層別・課題別研修体系の整備
令和6年度の取組なし
- イ 課題別ワーキンググループ会議の開催
令和6年度の取組なし
- ウ 職員衛生委員会の開催
毎月1回開催（主な協議事項：定期健康診断の実施、メンタルヘルス相談窓口の設置、ストレスチェックの実施、ハラスメント防止、食中毒予防、熱中症予防、ワークライフバランスの推進、

年次有給休暇取得状況、長時間労働対策、冬の感染症予防、転倒災害防止 等)

オ コンプライアンスチェックの実施

令和6年度の取組なし

カ デジタル技術等の利活用の推進 (DX 等の推進)

デジタル化に関するワーキンググループ会議 (令和5年度設置) 報告書の局内周知

キ 機関紙「パートナー」の発行及びホームページによる情報発信

本会の機関紙「パートナー」を年6回 (毎号5,000部) 発行し、社会福祉に関する情報や本会をはじめ会員施設や市町村社協の活動を紹介するなど、見やすく分かりやすい機関紙発行に努めた。

ホームページについては、社会福祉関係者はもとより、県民が利用しやすい内容に充実・改善し、常に新しい情報の提供に努めた。(ホームページ年間アクセス回数: 万回)

ク SNS の利活用による情報発信

地域福祉企画部東日本大震災被災者支援事業、ひとり親家庭等応援サポートセンター事業、ふれあいランド岩手管理・運営事業において、フェイスブックやLineによる情報発信を実施した。

(2) 経営基盤の強化

ア 未加入施設等への会員加入の奨励

新規加入 16 施設・法人

イ 協賛金の依頼 (拡大) と自主財源の確保及び事務・事業費節減の取組

(ア) 協賛金の依頼 (拡大) と自主財源の確保

企業、団体及び病院 (1,231 か所) に対し協賛金の協力を呼びかけるなどして自主財源の確保に努めた。

・入金実績: 311 件 (3,481,000 円) ※令和5年度実績: 339 件 (3,795,876 円)

(イ) 事務・事業費削減の取組

ウ 会計監査人監査、監事監査及び内部監査の実施

(ア) 会計監査人監査の実施

＜決算監査＞ 実施日: 5月22日～24日

＜期中監査＞ 実施日: 8月5日、6日、10月22日、23日、2月19日、30日

(イ) 監事監査、出納調査の実施

＜第1回＞ 実施日: 6月3日

内 容: 令和5年度第4四半期の出納調査及び決算監査

各会計における資金の管理運用の状況

令和5年度事業について

令和5年度収支決算について

＜第2回＞ 実施日: 9月22日

内 容: 第1四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

＜第3回＞ 実施日: 11月19日

内 容: 第2四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

＜第4回＞ 実施日: 2月29日

内 容: 第3四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

(ウ) 内部監査の実施

内部牽制体制を強化することを目的に、本会経理規程第72条に基づき、内部監査人4人を選任し内部監査を実施（実施日：5/28、9/30、2/21）

監査項目： ・小口現金、寄付金の状況 ・資産管理の状況 ・伝票と証拠書類の照合
・通帳と伝票の照合（残高証明との照合含む） ・契約に関する書類確認
・その他、適宜監査の必要があるもの

エ 介護等体験受入調整事業〔福祉経営支援部〕

(ア) 介護等を体験した学生

| | 大学 | 短大 | 計 |
|----|-------|-----|-------|
| 県内 | 146 人 | 0 人 | 146 人 |
| 県外 | 2 人 | 0 人 | 2 人 |
| 計 | 148 人 | 0 人 | 148 人 |

(イ) 体験を受け付けた学校数

| | 大学 | 短大 | 計 |
|----|-----|-----|-----|
| 県内 | 3 校 | 0 校 | 3 校 |
| 県外 | 2 校 | 0 校 | 2 校 |
| 計 | 5 校 | 0 校 | 5 校 |

(ウ) 受け入れた施設数 47 施設

オ 事務受託団体との事務委託契約に基づく適正な団体事務の実施

(ア) 公益財団法人岩手県福祉基金

令和6年度事業計画に基づき34件、8,201千円の助成を行ったほか、企業等から12件、1,941千円の寄付を基本財産に組み入れ、基本財産は1,145,991千円となった。

[助成の内訳]

| 助成区分 | 件数 | 金額（千円） |
|----------------------------|------|--------|
| 1－① 社会福祉団体活動に対する助成 | 32 件 | 6,944 |
| 1－② 社会福祉団体活動に対する助成(特別助成事業) | 1 件 | 1,000 |
| 2 社会福祉施設整備事業に関する助成 | 0 件 | 0 |
| 3 社会福祉従事者研修事業に対する助成 | 1 件 | 257 |
| 4 社会福祉の啓発及び顕彰事業に対する助成 | 0 件 | 0 |
| 計 | 34 件 | 8,201 |

(イ) 岩手県民生委員児童委員協議会（15 ページ～17 ページ参照）

(ウ) 岩手県里親会

a 会議の開催

(a) 理事会

<第1回> 期日、会場：5月13日、ふれあいランド岩手

<第2回> 期日、会場：3月24日、ふれあいランド岩手

(b) 監査

期日、会場：5月13日、ふれあいランド岩手

(c) 役員会

<第1回> 期日、会場：4月12日 ふれあいランド岩手

<第2回> 期日、会場：7月11日 ふれあいランド岩手

<第3回> 期日、会場：10月25日 ふれあいランド岩手

<第4回> 期日、会場：2月26日 ふれあいランド岩手

b 岩手県里親大会の開催

期日、会場、参加者：10月27日、ふれあいランド岩手、94人

内容：表彰式典、講演、シンポジウム

c 未委託里親交流研修会

期日、会場、参加者：9月8日、児童養護施設「一関藤の園」、19人

内容：学園紹介、学園見学、入所児童とのレクレーション

d 里親会交流研修会

期日、会場、参加者：12月7日、マリオス、34人

内容：グループ討議「子どもとの関わり はじめの一步」

里親支援センターぜんゆう 統括責任者 松尾みさき 氏

講義「ふれあい遊びが子どもに与えるもの」

盛岡大学短期大学部 幼児教育科 助教 丸山ちはや 氏

e 広報紙の発行

「里親いわて第49号」の発行（300部）（3月）

f 表彰の実施

- ・全国里親大会表彰（1組2人）
- ・東北地区里親会連絡協議会表彰（8組12人）
- ・岩手県社会福祉大会長表彰（2組3人）
- ・岩手県知事感謝状（5組7人）
- ・岩手県里親会長表彰（5組9人）

g 親族里親等支援事業（県委託事業）

（a）里親サロン

期日、会場：5月～1月（全6回）、宮古市総合福祉センターほか
支援会員派遣人数：32人、延べ参加者数：21組26人

（b）3地区合同交流研修会

期日、会場、参加者：8月24日、陸前高田市民文化会館、21人

内容：講義「震災から13年 今伝えたいこと 願うこと」

石巻市立青葉中学校 校長 平塚真一郎 氏

（c）地区交流会

期日、会場：9月～12月（各地区1回）、魚河岸テラス（釜石市）ほか
支援会員派遣人数：17人、延べ参加者数：11人

h 里親制度普及啓発キャンペーン

期日、会場：10月4日、MOSS ビル盛岡

内容：「里親の日」にあたり、NPO 法人日本子ども支援協会が実施する「全国一斉
里親制度啓発キャンペーン」のチラシを配布

（エ） 岩手県知的障害者福祉協会（岩手県知的障害児者生活サポート協会事務局）

a 会議の開催（岩手県知的障害児者生活サポート協会と併催）

（a）総会

期日、会場：4月30日、アートホテル盛岡

（b）監査

期日、会場：6月7日、ふれあいランド岩手

（c）理事会（岩手県知的障害児者生活サポート協会理事会と併催）

期日・会場 第1回 4月19日、アートホテル盛岡

第2回 4月30日、アートホテル盛岡

第3回 6月7日、ふれあいランド岩手

第4回 11月11日、ふれあいランド岩手

第5回 3月11日、ふれあいランド岩手

- (d) 正副会長会議（岩手県知的障害児者生活サポート協会理事会と併催）
 - 期日・会場 第1回 4月19日、アートホテル盛岡
 - 第2回 3月4日、ホテルニューカリーナ
- b 研修会等
 - (a) 新任職員研修会
 - 期日、会場、参加者：7月17日、ホテルニューカリーナ、47人
 - 内容：講義「知的障がい者支援の現場で働くこと」
 - 講話「1年先輩からのお話」
 - チーム対抗レクリエーション、グループワーク「意思決定支援について」
 - (b) 岩手県知的障害者施設職員研修大会（岩手県知的障害児者生活サポート協会共催）
 - 期日、会場、参加者：1月22日、アートホテル盛岡、32人
 - 内容 表彰式：福祉事業功労表彰表彰（8名）、輪投げチャレンジ上位施設表彰（3施設）
 - 講演「命を守る一意思決定支援の実際」大会宣言採択
 - (c) 中堅職員研修会
 - 期日、会場、参加者：2月18日、ホテルニューカリーナ、42人
 - 内容：講義「意思決定支援（実践編）」
 - (d) スポーツチャレンジ企画「利用者・会員施設対抗 輪投げチャレンジ」
 - （岩手県知的障害児者生活サポート協会共催事業）
 - 期日、会場、参加者：11月28日～12月27日、各施設、施設数23、参加者数540人、団体賞3、個人賞10（入賞3、飛び賞・ブービー賞7）
 - (e) 部会協議会・支援スタッフ委員会合同研修会
 - （部会協議会・支援スタッフ委員会終了後、同日開催）
 - 期日、会場、参加者：3月4日、ホテルニューカリーナ、32人
 - 内容：講義「いのち」を守る～自然災害に福祉施設が今一度備えるべきこと～
- c 部会・委員会活動
 - (a) 部会及び支援スタッフ委員会連絡会議
 - 期日、会場：4月30日、アートホテル盛岡
 - (b) 各部会の開催
 - 地域支援部会
 - ・共同生活援助事業所（地域支援部会所属事業所含む）対象としたアンケートの実施（政策委員会）
 - アンケート実施期間 令和6年6月20日～7月14日/回答数21事業所
 - ・地域支援部会活動
 - 期日、会場、参加者：12月2日、ふれあいランド岩手、21人
 - 内容：地域支援部会活動報告、「人材確保についての情報提供」
 - 部会協議会（6部会協議会と支援スタッフ委員会と合同開催）
 - 期日、会場：3月4日、ホテルニューカリーナ
 - 内容：中央情勢報告、各施設の情報交換会等
 - (c) 委員会活動
 - 政策委員会
 - 共同生活援助事業所（地域支援部会所属事業所含む）を対象としたアンケートの実施

アンケート実施期間 6月20日～7月14日／回答数21事業所（再掲）

○研修・事業・広報委員会（支援スタッフ委員会と合同開催）

期日、会場：第1回 5月24日、ふれあいランド岩手

第2回 6月27日、ふれあいランド岩手

第3回 10月24日、ふれあいランド岩手

○支援スタッフ委員会

期日、会場：第1回 5月24日、ふれあいランド岩手

第2回 6月27日、ふれあいランド岩手

第3回 7月8日、ふれあいランド岩手

第4回 9月24日、ふれあいランド岩手

第5回 10月21日、ふれあいランド岩手

第6回 3月4日、ホテルニューカリーナ（6部会協議会と合同開催）

d 組織力強化（＝新規会員獲得）に向けた活動

R7.3.31 会員施設数 103 施設（参考：令和6年3月31日現在98施設）

ホームページの活用を含めた情報の発信

e 関係団体への要望、提言

「令和6年度障がい者関係団体との意見交換会」（県障がい保健福祉課主催）

期日、会場：9月24日、ふれあいランド岩手（鎌田会長）

f 調査・研究活動他

○各種別部会、政策委員会による事業実態調査

政策委員会アンケート調査（6月）〔再掲〕

○助成

第1回障がいのある人の意思決定支援を推進するための実践研修参加者への旅費
助成（古川東北フォーラム2024inいわて実行委員長、畑山支援スタッフ委員長）

g 大規模災害発生時等における会員施設への支援と発災に備えた連携体制の構築

災害支援基金運営要綱に基づく積立（目標額の積み立て完了）

h 表彰事業

○岩手県知的障害者福祉協会表彰（職員研修大会席上で表彰）

期日・会場：令和7年1月22日、アートホテル盛岡 福祉事業功労表彰 8名

○日本知的障害者福祉協会 知的障害者福祉事業功労者功労者表彰の進達 表彰決定 8名

i 岩手県知的障害児者生活サポート協会会員交流事業等助成事業

（事務局：岩手県知的障害者福祉協会）1件 28,840円

（オ） 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会

a 会議の開催

（a） 総会

期日、会場：3月17日 ふれあいランド岩手

（b） 理事会

期日、会場：5月16日、8月23日、2月17日 ふれあいランド岩手

（c） 正副会長会議

期日、会場：2月17日 ふれあいランド岩手

（d） 監査

期日、会場：5月16日、ふれあいランド岩手

（e） 広報地区支援委員会、調査研究委員会、研修委員会

期日、会場：2月17日 ふれあいランド岩手

- b 岩手県地域包括・在宅介護支援センターフォーラムの開催
 - 期日、会場、参加者：11月26日、ふれあいランド岩手、46人
 - 内容：講義「政策形成につなげる地域ケア会議の効果的な運営について」
 - グループワーク「地域ケア会議の効果的な運営について」
- c その他
 - (a) 広報活動
 - ・岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会ホームページを活用した情報提供
 - ・広報発行「広報つながり vol. 32」 高齢協合同発行（PDFによるメール配信）
 - (b) 地区協議会活動の推進
 - 4つの地区協議会の活動に対し活動費140,000円を交付
 - (c) 高齢者総合支援センターとの情報交換会
 - 期日、会場：5月16日 ふれあいランド岩手
 - (d) 岩手県保健福祉部長寿社会課との意見交換会
 - 期日、会場：9月11日 トーサイクラシックホール岩手
 - (e) 岩手県医療ソーシャルワーカー協会との情報交換会
 - 期日、会場：1月25日 いわて県民情報交流センター
- (カ) 東北地区社会就労センター協議会
 - a 会議の開催
 - (a) 総会
 - 期日、会場：6月19日、山形国際ホテル
 - (b) 監査
 - 期日、会場：5月21日、ふれあいランド岩手及びオンライン
 - (c) 役員会
 - 期日、会場：6月3日、11月22日、2月18日（全てオンライン）
 - b 研修会等の開催
 - (a) 施設長連絡会議
 - 期日、会場、参加者：2月18日～19日、アイーナ、30人
 - 内容：講演「令和6年度報酬改定後の現状と影響」
 - グループ討議
 - 講演「青森県三沢市発！新たな『働き方福祉改革～サードプレイスミサワの取組から地域共生社会を考える～』」
 - (b) 職員研修会
 - 研修委員会
 - 第1回 期日、会場：7月30日、オンライン
 - 第2回 期日、会場：9月4日、オンライン
 - 職員研修会
 - 期日、会場、参加者：11月20日～21日、ユートリー、65人
 - 内容：基調講演「就労選択支援って何？」
 - 実践発表・グループ討議「就労選択支援、事業所は何をすればいいんだろう？」
 - 実践発表「考えてみよう！就労支援のネットワークづくり」
 - 福島就業支援ネットワーク 事務局長 鈴木 康弘 氏
 - グループ討議、グループ発表、総括コメント
 - 講演「職員の職場定着に向けた魅力ある職場づくりに向けて～上司（先

輩)と部下の信頼関係・良好なコミュニケーションで働きやすい職場に
しよ～」

(キ) 全国社会福祉法人経営者協議会 北海道・東北ブロック協議会

a 会議の開催

(a) 会長会議

期日、会場：第1回 4月23日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
第2回 7月23日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
第3回 10月30日、ホテルメトロポリタン山形
第4回 11月19日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
第5回 12月24日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
第6回 1月28日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
第7回 2月25日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

(b) 監査

期日、会場：5月17日、ウェスティンホテル仙台

(c) セミナー・研修会

期日、会場：10月29日、30日、ホテルメトロポリタン山形
参集者：171名

(ク) 一般社団法人岩手県介護福祉士会

a 会務運営

(a) 定時総会

期日、会場、参加者：6月8日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）、
24人（委任状164通）
内容：令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算、役員選任

(b) 監査

期日、会場：5月15日、ふれあいランド岩手

(c) 理事会

期日、会場：＜第1回＞ 6月8日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）
＜第2回＞ 6月8日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）
＜第3回＞ 10月3日、オンライン開催
＜第4回＞ 12月14日、奥州市水沢地区センター（オンライン併用）
＜第5回＞ 3月17日、オンライン開催

(d) 正副会長会議

期日、会場：＜第1回＞ 5月28日、オンライン開催
＜第2回＞ 7月24日、オンライン開催
＜第3回＞ 3月10日、オンライン開催

b 研修会等の実施

(a) 岩手県社会福祉士会との合同研修会

期日、会場、参加者：6月8日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）、21人

(b) 介護福祉士基本研修会

期日、会場、参加者：8月22日、23日、9月5日、6日、
ふれあいランド岩手（オンライン併用）、12人

(c) VR認知症体験会

期日、会場、参加者：9月21日、ふれあいランド岩手、76人

- (d) 介護福祉士実習指導者講習会
期日、会場、参加者：10月17日、18日、10月31日、11月1日
ふれあいランド岩手、36人
- (e) 介護福祉士国家試験対策全国一斉擬試験
期日、会場、参加者：11月16日、40人、ふれあいランド岩手、大船渡市Y・S
センター、久慈市総合福祉センター
- (f) 外国人介護人材のための介護福祉士資格取得支援講座
期日、会場、参加者：11月13日、14日、15日、12月5日、6日、アイーナ、
4人
- (g) 現任者研修会（ヤングケアラー研修）
期日、会場、参加者：12月14日、奥州市水沢地区センター（オンライン併用）、
61人
- (h) 介護職種の技能実習指導員講習会
期日、会場、参加者：1月17日、ふれあいランド岩手、21人
- (i) 介護の日フェスタ
期日、会場、来場者：11月9日、複合商業施設monaka
内容：ウェットティッシュ配布、介護相談・おしごと相談、福祉用具・介護機
器展示、VR認知症体験、介助犬、ボッチャ体験
- (j) KAIGO PRIDE
期日、会場、来場者：2月15日、16日、肴町商店街、川徳
- (k) 講師派遣事業（出張型研修会）
時期、回数：10月～2月、4施設（5回開催）
内容：身体拘束、虐待防止、介護技術、認知症
- (ケ) 岩手県介護支援専門員協会
 - a 会務運営
 - (a) 定時総会
期日、会場、参加者：6月22日、ふれあいランド岩手 他県内4会場（オンライン
併用）、128人、委任状1,060通
内容：令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算、規約改正、役員選
任
 - (b) 監査
期日、会場：5月22日、ふれあいランド岩手
 - (c) 理事会
期日、会場：＜第1回＞ 6月22日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）
＜第2回＞ 3月29日、オンライン開催
 - (d) 役員会
期日、会場：＜第1回＞ 5月11日、アートホテル盛岡
＜第2回＞ 9月14日、岩手産業会館（オンライン併用）
＜第3回＞ 1月28日、オンライン開催
 - (e) 正副会長会議
期日、会場：＜第1回＞ 4月17日、アートホテル盛岡
＜第2回＞ 7月31日、プラザホテル盛岡
＜第3回＞ 8月21日、ふれあいランド岩手
＜第4回＞ 1月8日、ふれあいランド岩手

b 研修会の実施

(a) 定例研修会

期日、会場、参加者：＜第1回＞ 6月22日、231人
ふれあいランド岩手 他県内4会場（オンライン併用）
＜第2回＞ 11月23日、アイーナ、214人
＜第3回＞ 3月22日、アイーナ、123人

(b) 岩手県在宅医療人材育成研修事業（3会場）

期日、会場、参加者：10月15日、奥州市江刺総合支所、94人
10月18日、岩手教育会館、65人
12月2日、遠野健康福祉の里、50人

(コ) 岩手県ホームヘルパー協議会

a 会務運営

(a) 総会

期日、会場、参加者：6月13日、ふれあいランド岩手13人（委任状25通）

(b) 監査

期日、会場：5月10日、ふれあいランド岩手

(c) 理事会

期日、会場：＜第1回＞ 5月10日、ふれあいランド岩手
＜第2回＞ 3月21日、ふれあいランド岩手

(d) 正副会長会議

期日、会場：12月23日

b 研修会の実施

(a) ホームヘルプセミナー（総会後）

期日、会場、参加者：6月13日、ふれあいランド岩手、40名

テーマ：①令和6年度介護報酬改定について

②訪問介護事業所におけるサービス提供責任者の役割

(b) 現任者研修会

＜第1回＞ 期日、会場：11月7日、ふれあいランド岩手、参加者20人

テーマ：①災害時の食を考える～東日本大震災の教訓と
備え

②利用者の自立を促す介護の基本技術

＜第2回＞ 期日：2月4日～21日（オンデマンド）、25事業所参加

テーマ：①ホームヘルプサービスの動向について

②訪問介護事業所における運営指導の実務的な対応やボ
イント

c 公益財団法人岩手県福祉基金助成事業の実施

県内の訪問介護事業所の人材確保に寄与することを目的として、訪問介護の仕事の魅
力発信リーフレットを作成し関係機関へ送付した。

キ 会務の運営

(ア) 理事会の開催 [総務部]

＜第1回＞ 開催日：6月10日

議案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について

令和5年度事業報告について

令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について

ふれあいランド岩手の利用料金の改定について

評議員選任・解任委員会委員の選任について
評議員候補者の推薦について
評議員選任・解任委員会の招集について
評議員選任・解任委員会委員の選任について
理事候補者の推薦について
評議員会の招集について

<第2回> 開催日：7月12日（決議の省略）

議案：会計監査人の報酬について

提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日

<第3回> 開催日：8月26日

議案：副会長の選定について（補充選任）

ふれあいランド岩手指定管理者への申請について

<第4回> 開催日：3月14日

議案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について

令和6年度収支補正予算について

ふれあいランド岩手利用料金の改定について

令和7年度事業計画について

令和7年度収支予算について

諸規程の改正について

評議員会の招集について

(イ) 評議員会の開催 [\[総務部\]](#)

<第1回> 開催日：6月27日

議案：令和5年度事業報告について

令和5年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について

理事の選任について（補充選任）

<第2回> 開催日：3月27日

議案：令和6年度収支補正予算について

令和7年度事業計画について

令和7年度収支予算について

(ウ) 監事等による監査の実施 [\[総務部\]](#)

a 監事監査及び出納調査

<第1回> 実施日：6月3日

内 容：令和5年度第4四半期の出納調査及び決算監査

各会計における資金の管理運用の状況

令和5年度事業について

令和5年度収支決算について

<第2回> 実施日：9月22日

内 容：第1四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

<第3回> 実施日：11月19日

内 容：第2四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

<第4回> 実施日：2月29日

内 容：第3四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

b 会計監査人監査の実施

＜決算監査＞ 実施日：5月22日～24日

＜期中監査＞ 実施日：8月5日、6日、10月22日、23日、2月19日、30日

c 内部監査

内部牽制体制を強化することを目的に、本会経理規程第72条に基づき、内部監査人4人を選任し内部監査を実施（実施日：5/28、9/30、2/21）

監査項目：小口現金、寄付金の状況、資産管理の状況、伝票と証拠書類の照合、通帳と伝票の照合（残高証明との照合含む）、契約に関する書類確認
その他、適宜監査の必要があるもの